

平成 27 年度
卒業生・修了生・事業所へのアンケート調査
報告書

三重大学地域人材教育開発機構 教学 IR 教育評価開発部門
(高等教育創造開発センター 教育評価部門)

第 I 部

卒業生と修了生

－ 目次 －

【第 I 部 卒業生と修了生】

第 1 章 調査の概要と分析対象者の属性について

- 1.1 調査の概要 1
- 1.2 分析対象者の属性 2

第 2 章 三重大学/三重大学大学院の教育に対する満足度

- 2.1 三重大学の教育に対する満足度（卒業生） 4
- 2.2 三重大学大学院の教育に対する満足度（修了生） 11

第 3 章 三重大学/三重大学院の教育に対するニーズ

- 3.1 三重大学の教育に対するニーズ（卒業生） 12
- 3.2 三重大学大学院の教育に対するニーズ（修了生） 18

第 4 章 大学/大学院生活で重点を置いたこと

- 4.1 大学生活で重点を置いたこと（卒業生） 19
- 4.2 大学院生活で重点を置いたこと（修了生） 23

第 5 章 三重大学/三重大学大学院での教育・研究で身についたこと

- 5.1 三重大学の教育で身についたこと（卒業生） 24
- 5.2 三重大学大学院の教育で身についたこと（修了生） 33

第 6 章 社会生活の場で重要な力について

- 6.1 社会生活の場で重要な力（卒業生） 35
- 6.2 社会生活の場で重要な力（修了生） 39

第1章 調査の概要と分析対象者の属性について

1.1 調査の概要

1.1.1 調査の目的

三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに相応しているかを「三重大学卒業生（本調査では、「卒業生」という）、もしくは三重大学大学院卒業生（本調査では、「修了生」という）」を対象に教育満足度や自己評価、および教育ニーズ等を調査することにより、今後の三重大学の高等教育の改善・発展に資することを目的とした。

1.1.2 調査の設計

- (1) 調査対象 平成26年度本学卒業生と修了生
- (2) 調査時期 平成28年2月頃
- (3) 調査方法 郵送調査

卒業生/修了生が在学中に届け出ていた保証人の住所宛てに、依頼文と調査用紙、返信用封筒を同封した封書を郵送した。回答後は調査用紙を返信用封筒に入れ、本学に返送するよう依頼した。

- (4) 回収数（率） 右表参照

表1.1.2 発送と回収について

	卒業生	修了生
発送数	1,372	412
回収数	194	67
回収率(%)	14.1%	16.3%

1.1.3 調査の内容

調査した項目内容を以下に示す。なお、実施した調査用紙は、資料を参照のこと（一部の項目について、本報告書には掲載していない）。

表1.1.3 調査内容(卒業生と修了生対象)

	項目数	項目内容	結果の章
基本事項	5項目	学部・学科・課程／研究科・専攻、入試形態、性別、現在の職種、現在の居住地	第1章
三重大学／三重大学大学院の教育に対する満足度	卒業生:16項目 修了生:12項目	本学の教育に対する満足度をたずねた。	第2章
	6段階評定	満足の色度を表す「非常に不満」から「非常に満足」の6段階の中から、あてはまるものをひとつ選択。	
役立ったと思う大学／大学院の授業	自由記述 2項目	卒業後、自分に役立ったと思う授業や理由をたずねた。	—
三重大学／三重大学大学院の教育に対するニーズ	13個の選択肢の中から4つ選択(卒業生・修了生共通項目)	本学が重点を置いて教育すべき力についてたずねた。	第3章
大学／大学院生活で重点を置いたこと	卒業生:21個の選択肢の中から2つ選択 修了生:18個の選択肢の中から2つ選択	大学／大学院生活の中で、重点を置いたことについてたずねた。	第4章
三重大学／三重大学大学院の教育(・研究)で身についたこと	28項目(卒業生・修了生共通項目)	本学の教育によって、力がどの程度身についたと思うかをたずねた。	第5章
	4段階評定	身についたと思う色度を表す「身につかなかった」から「十分身についた」の4段階の中から、あてはまるものをひとつ選択。	
社会生活の場で重要な力について	17個の選択肢の中から4つ選択(卒業生・修了生共通項目)	卒業後の社会生活の場で、重要だと思う力についてたずねた。	第6章
意見と感想	自由記述	三重大学/三重大学大学院の教育についての意見と感想をたずねた。	—
在学生へのメッセージ	自由記述	在学生へのアドバイスやメッセージをたずねた。	—

1.2 分析対象者の属性

1.2.1 在学中の所属学部/研究科

在学中に所属していた学部/研究科ごとの分析対象者数を集計した。集計・分析について、卒業生は学部ごとの特徴を明らかにするため、全卒業生の結果だけではなく、学部別の結果を掲載した。修了生は回答数が少ない研究科があるため、研究科別の結果は掲載しないこととした。

表1.2.1.1 分析対象者数(卒業生)

人文学部	教育学部	医学部	工学部	学生物資源部	合計
44	41	22	46	41	194

表1.2.1.2 分析対象者数(修了生)

人文社会科学	教育学研究科	医学系研究科	工学研究科	生物資源学研究科	地域イノベーション研究科	無回答	合計
2	10	8	28	16	2	1	67

1.2.2 入試形態

分析対象者の入試形態について集計した。

表1.2.2 分析対象者の入試形態について

	前期	後期	推薦	A O	編入	無回答	合計
卒業生	112	43	21	9	8	1	194
修了生	37	18	6	1	1	4	67

1.2.3 現在の職種

分析対象者の現在の職種を集計した。

表1.2.3 分析対象者の現在の職種

	公務員	一般企業	団体職員	大学院在学中	医療関係	アルバイト	無職	その他	無回答	合計
卒業生	49	63	6	45	18	2	1	10	0	194
修了生	10	40	4	2	7	1	0	2	1	67

1.2.4 居住地

分析対象者の現在の居住地を集計した。三重県内と回答した場合は、どの地区かもあわせて回答を求めた。

表1.2.4 分析対象者の居住地

	三重県外	三重県	地区					無回答	合計
			北勢地区	伊賀地区	中勢地区	南勢地区	東紀州地区		
卒業生	94	100	34	8	44	12	2	0	194
修了生	43	23	8	1	10	3	1	1	67

第2章 三重大学/三重大学大学院の教育に対する満足度

2.1 三重大学の教育に対する満足度（卒業生）

三重大学の教育（16項目）について、満足している程度を「非常に不満」から「非常に満足」までの6段階で回答を求めた。以下に、全卒業生（194名）と卒業学部ごとの平均値と標準偏差、満足群を示す。平均値と標準偏差は、満足の度合いを表す6段階評定において、「非常に不満」1点、「不満」2点、「やや不満」3点、「やや満足」4点、「満足」5点、「非常に満足」6点として算出した。満足群は、満足度の6段階のうち、「やや満足」、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した卒業生の割合である。

2.1.1 三重大学の教育に対する満足度（全卒業生）

卒業生からの全回答（194名）の平均値と標準偏差、満足群を算出した。その結果、「1. 教育全般」や「4. 学習環境」、「12. 専門の授業全般」、「16. 卒業研究指導」の平均値が非常に高く、85%以上の卒業生が満足していることが示された。「15. 理系基礎関係授業」については、経験した人のみの回答する項目で90%以上の卒業生が満足しているという結果であった。全項目で平均値が3.5点（中点）以上と卒業生の満足度は非常に高かった。

表2.1.1 全卒業生(194名)の三重大学の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)	
1	教育全般	4.48	0.87	87.6	
2	研究環境(文献、機器・研究水準など)	4.26	1.05	76.8	
3	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.31	1.05	82.9	
4	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.51	1.03	86.6	
5	学生生活に対するサポート	4.26	0.88	85.5	
6	共通教育の授業全般	4.05	1.03	74.6	
7	共通教育の語学系授業	3.92	1.05	69.4	
8	共通教育の情報系授業	3.91	1.01	72.0	
9	共通教育のキャリア系授業	3.88	1.06	66.3	
10	共通教育の保健体育関連授業	4.30	0.91	83.3	
11	幅広い教養を身につけられる教育の提供	4.24	1.01	81.3	
12	学部専門の授業	4.65	1.03	85.5	
13	PBLなどの少人数課題探求型の授業	3.95	1.08	70.7	
14	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	4.14	1.10	73.4	
※経験した人のみの回答					回答者数 (人)
15	理系基礎関係授業	4.42	0.81	91.0	89
16	卒業研究指導	4.80	1.10	89.3	168

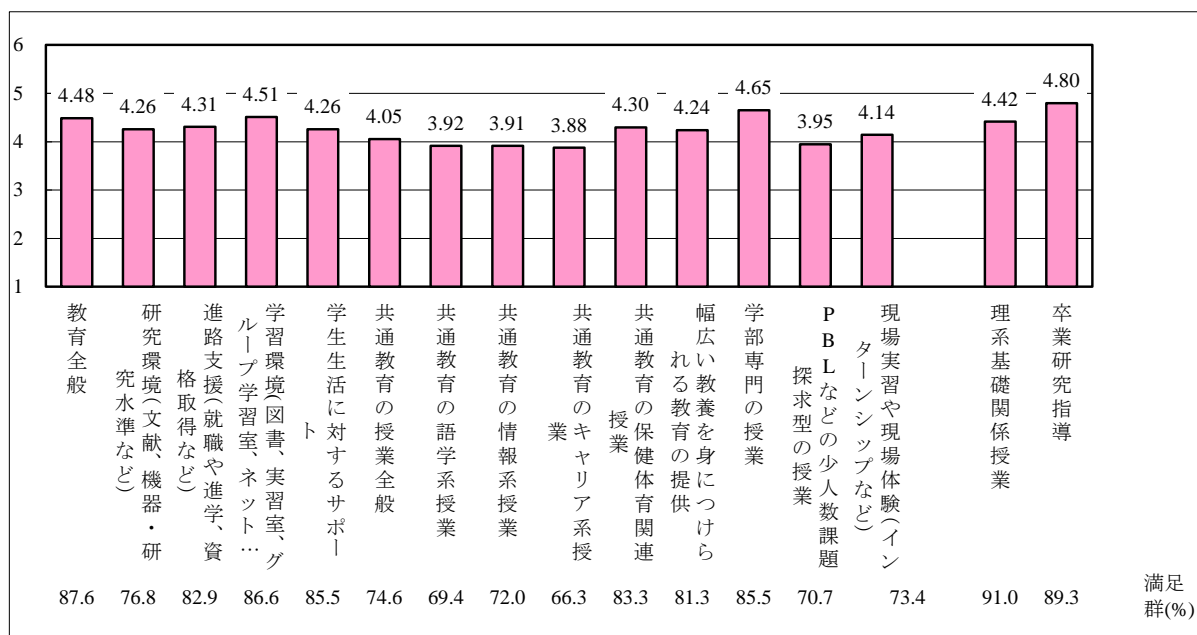


図2.1.1 全卒業生(194名)の三重大の教育に対する満足度

2.1.2 三重大の教育に対する満足度 (人文学部卒業生)

卒業生からの全回答のうち、人文学部卒業生(44名)の平均値と標準偏差、満足群を算出した。

表2.1.2 人文学部卒業生(44名)の三重大の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群 (%)	回答者数 (人)
1	教育全般	4.50	0.98	88.6	
2	研究環境(文献、機器・研究水準など)	4.09	1.27	65.9	
3	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.30	1.07	81.8	
4	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.30	1.32	75.0	
5	学生生活に対するサポート	4.26	1.11	79.1	
6	共通教育の授業全般	4.27	1.15	77.3	
7	共通教育の語学系授業	4.14	1.17	70.5	
8	共通教育の情報系授業	4.16	1.01	79.5	
9	共通教育のキャリア系授業	4.27	1.11	75.0	
10	共通教育の保健体育関連授業	4.55	0.93	90.9	
11	幅広い教養を身につけられる教育の提供	4.66	1.06	90.9	
12	学部専門の授業	4.89	1.08	93.2	
13	PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.11	1.19	72.7	
14	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	4.05	1.25	65.1	
※経験した人だけの回答					回答者数 (人)
15	理系基礎関係授業	5.00	—	100.0	1
16	卒業研究指導	5.03	0.94	89.5	38

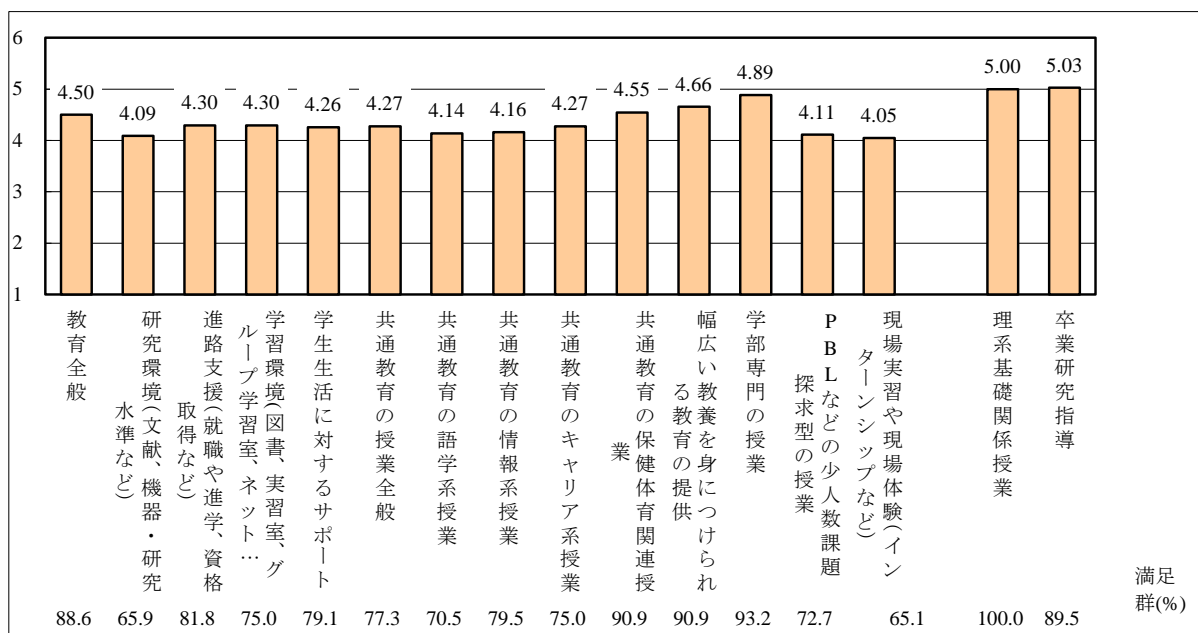


図2.1.2 人文学部卒業生(44名)の三重大の教育に対する満足度

2.1.3 三重大の教育に対する満足度（教育学部卒業生）

卒業生からの全回答のうち、教育学部卒業生（41名）の平均値と標準偏差、満足群を算出した。

表2.1.3 教育学部卒業生(41名)の三重大の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)	回答者数(人)
1	教育全般	4.63	0.86	90.2	
2	研究環境(文献、機器・研究水準など)	4.27	0.87	85.4	
3	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.56	1.12	85.4	
4	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.49	0.93	85.4	
5	学生生活に対するサポート	4.32	0.76	92.7	
6	共通教育の授業全般	3.85	0.85	61.0	
7	共通教育の語学系授業	3.80	0.93	65.9	
8	共通教育の情報系授業	3.78	0.88	68.3	
9	共通教育のキャリア系授業	3.76	1.02	63.4	
10	共通教育の保健体育関連授業	4.41	0.87	90.2	
11	幅広い教養を身につけられる教育の提供	4.15	0.85	82.9	
12	学部専門の授業	4.54	1.14	75.6	
13	PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.02	0.91	78.0	
14	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	4.20	1.01	82.9	
※経験した人からの回答					
15	理系基礎関係授業	4.57	0.79	100.0	7
16	卒業研究指導	4.94	1.01	94.4	36

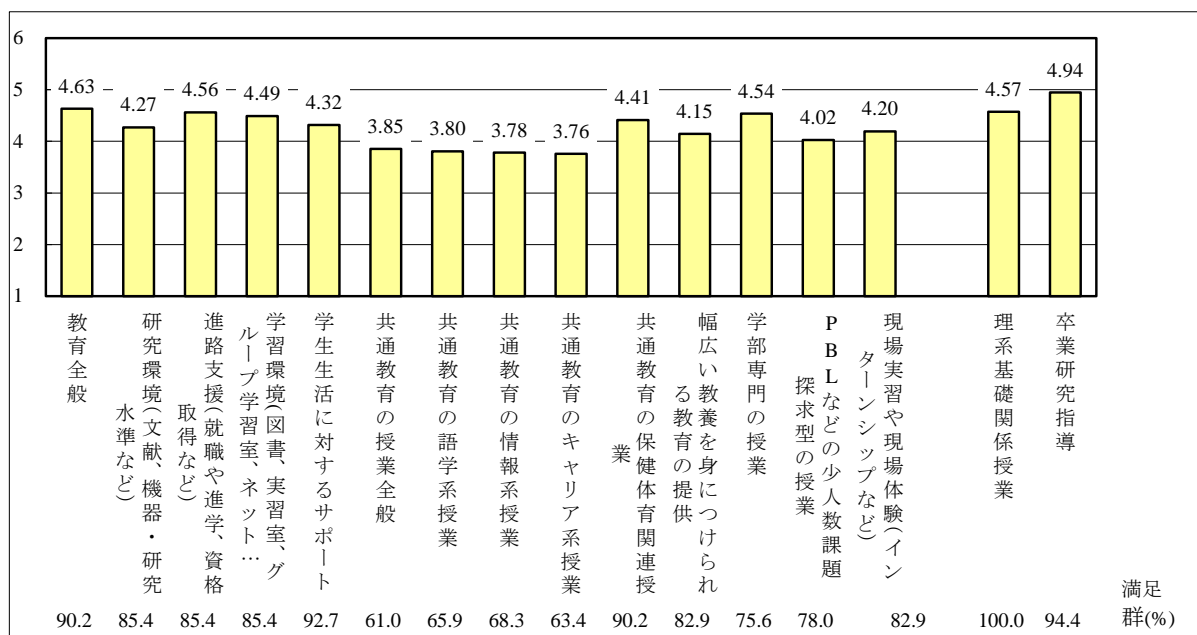


図2.1.3 教育学部卒業生(41名)の三重大の教育に対する満足度

2.1.4 三重大の教育に対する満足度(医学部卒業生)

卒業生からの全回答のうち、医学部卒業生(22名)の平均値と標準偏差、満足群を算出した。

表2.1.4 医学部卒業生(22名)の三重大の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)	
1	教育全般	4.59	0.96	90.9	
2	研究環境(文献、機器・研究水準など)	4.18	1.01	72.7	
3	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.41	1.18	90.9	
4	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.73	1.12	90.9	
5	学生生活に対するサポート	4.55	0.86	90.9	
6	共通教育の授業全般	4.00	1.15	77.3	
7	共通教育の語学系授業	4.00	1.23	72.7	
8	共通教育の情報系授業	3.95	1.13	68.2	
9	共通教育のキャリア系授業	3.95	1.05	72.7	
10	共通教育の保健体育関連授業	4.05	1.00	77.3	
11	幅広い教養を身につけられる教育の提供	4.09	1.11	77.3	
12	学部専門の授業	4.73	0.98	90.9	
13	PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.18	1.10	81.8	
14	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	4.45	0.86	90.9	
※経験した人だけの回答					回答者数(人)
15	理系基礎関係授業	5.00	1.00	100.0	3
16	卒業研究指導	5.00	0.89	90.9	11

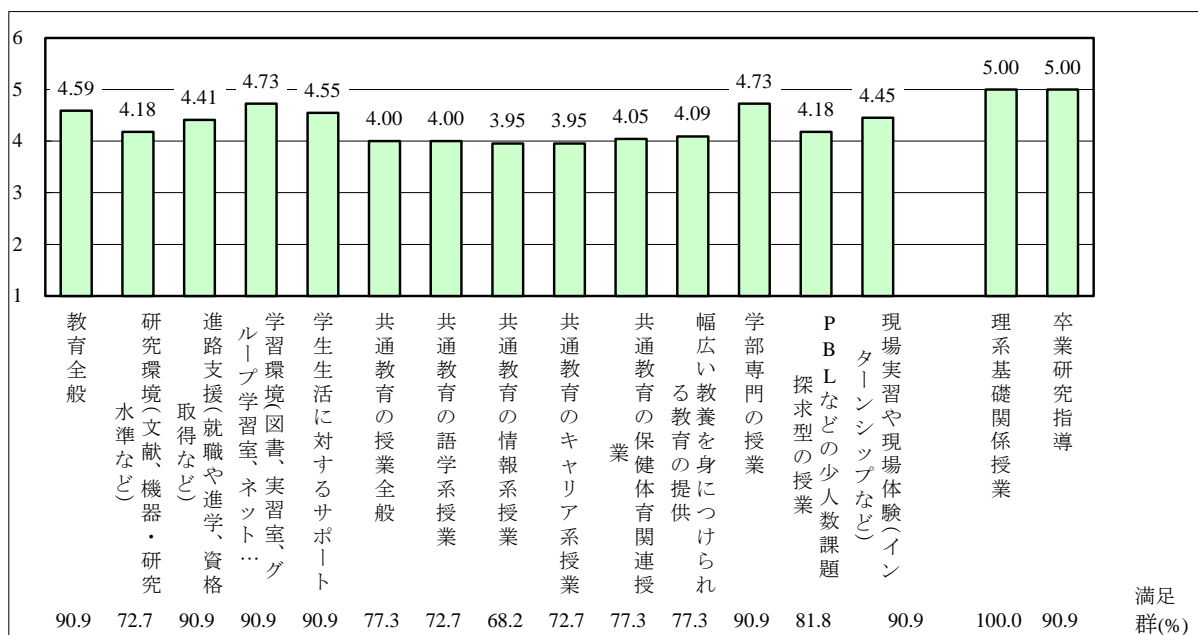


図2.1.4 医学部卒業生(22名)の三重大学の教育に対する満足度

2.1.5 三重大学の教育に対する満足度(工学部卒業生)

卒業生からの全回答のうち、工学部卒業生(46名)の平均値と標準偏差、満足群を算出した。

表2.1.5 工学部卒業生(46名)の三重大学の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)	
1	教育全般	4.33	0.70	87.0	
2	研究環境(文献、機器・研究水準など)	4.13	1.09	71.7	
3	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.27	1.01	84.4	
4	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.59	0.88	89.1	
5	学生生活に対するサポート	4.07	0.80	82.6	
6	共通教育の授業全般	3.98	1.00	80.4	
7	共通教育の語学系授業	3.87	0.91	76.1	
8	共通教育の情報系授業	3.78	0.99	69.6	
9	共通教育のキャリア系授業	3.72	1.07	63.0	
10	共通教育の保健体育関連授業	4.18	0.89	80.0	
11	幅広い教養を身につけられる教育の提供	4.11	0.97	78.3	
12	学部専門の授業	4.50	0.81	84.8	
13	PBLなどの少人数課題探求型の授業	3.53	1.06	60.0	
14	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	3.91	1.12	66.7	
※経験した人だけの回答					回答者数(人)
15	理系基礎関係授業	4.24	0.93	83.3	42
16	卒業研究指導	4.36	1.30	81.8	44

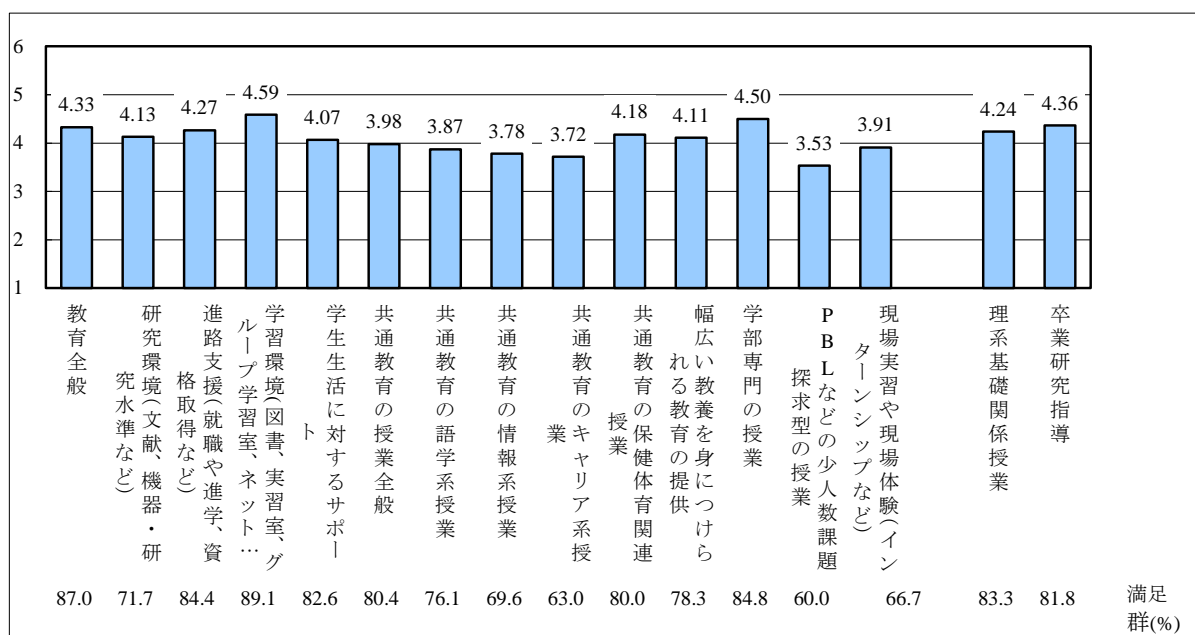


図2.1.5 工学部卒業生(46名)の三重大学の教育に対する満足度

2.1.6 三重大学の教育に対する満足度(生物資源学部卒業生)

卒業生からの全回答のうち、生物資源学部卒業生(41名)の平均値と標準偏差、満足群を算出した。

表2.1.6 生物資源学部卒業生(41名)の三重大学の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)	回答者数(人)
1	教育全般	4.44	0.90	82.9	
2	研究環境(文献、機器・研究水準など)	4.61	0.86	87.8	
3	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.05	0.92	75.6	
4	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.56	0.87	95.1	
5	学生生活に対するサポート	4.27	0.78	85.4	
6	共通教育の授業全般	4.13	1.02	77.5	
7	共通教育の語学系授業	3.80	1.07	62.5	
8	共通教育の情報系授業	3.90	1.10	72.5	
9	共通教育のキャリア系授業	3.70	0.97	60.0	
10	共通教育の保健体育関連授業	4.18	0.87	75.0	
11	幅広い教養を身につけられる教育の提供	4.10	1.01	75.0	
12	学部専門の授業	4.65	1.08	85.0	
13	PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.03	1.09	66.7	
14	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	4.27	1.12	70.7	
※経験した人だけの回答					
15	理系基礎関係授業	4.53	0.61	97.2	36
16	卒業研究指導	4.87	1.03	92.3	39

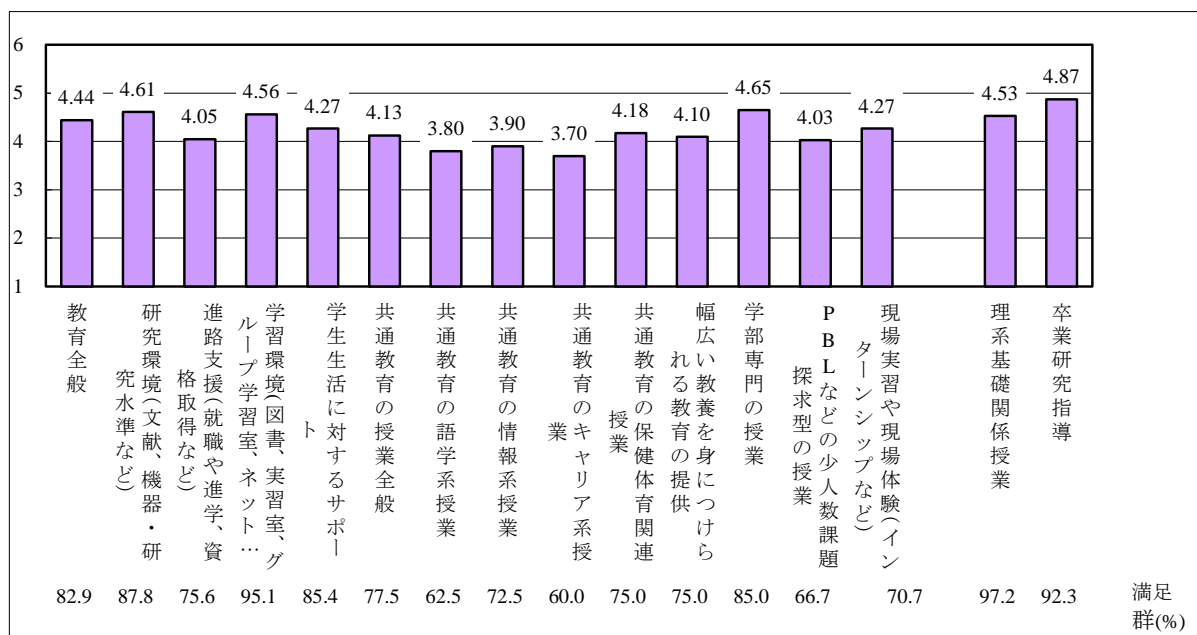


図2.1.6 生物資源学部卒業生(41名)の三重大大学の教育に対する満足度

2.2 三重大学大学院の教育に対する満足度（修了生）

三重大学大学院の教育（12項目）について、満足している程度を「非常に不満」から「非常に満足」までの6段階で回答を求めた。以下に、全修了生（67名）の平均値と標準偏差、満足群を示す。平均値と標準偏差は、満足の度合いを表す6段階評定において、「非常に不満」1点、「不満」2点、「やや不満」3点、「やや満足」4点、「満足」5点、「非常に満足」6点として算出した。満足群は、満足度の6段階のうち、「やや満足」、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した修了生の割合である。修了生の回答数は少ないため、研究科別の結果は掲載しないこととした。

その結果、「6. 最先端の研究や高度専門知識の教授」や「8. 研究指導」、「9. 学位論文指導」について、平均値が4.5点（6段階評定で「やや満足」～「満足」に間にあたる）以上と非常に高く、85%以上の修了生が満足していることが示された。その他にも「1. 教育全般」や「2. 研究環境」についても85%以上の修了生が満足しているという結果が示された。

表2.2 全修了生(67名)の三重大学大学院の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)
1	教育全般	4.48	0.98	87.5
2	研究環境(文献、機器、研究水準など)	4.49	1.05	86.2
3	大学院の授業科目構成	4.11	1.15	75.4
4	大学院の授業	4.26	1.27	78.5
5	PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.18	1.16	75.4
6	最先端の研究や高度専門知識の教授	4.71	1.01	87.7
7	現場実習やインターンシップなど	4.02	1.14	69.4
8	日常的な研究指導	4.85	1.08	86.2
9	学位論文指導	4.91	1.10	90.8
10	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.39	1.15	81.3
11	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.25	1.21	73.8
12	学生生活に対するサポート	4.20	1.13	78.1

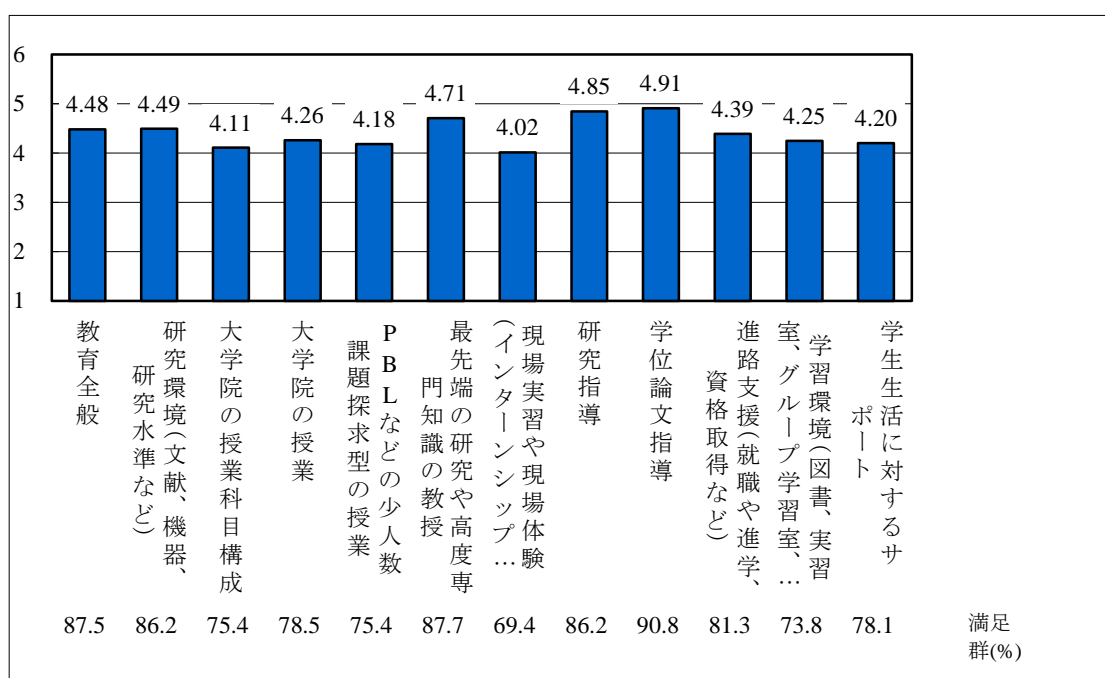


図2.2 全修了生(67名)の三重大学大学院の教育に対する満足度

第3章 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

3.1 三重大学の教育に対するニーズ（卒業生）

三重大学ではどのような力の育成に重点を置いて教育すべきかを卒業生にたずねた。回答は、13個の選択肢の中から4つ選択するように求めた。全卒業生、および卒業学部別に各項目を選択した人数とその割合を算出した。

3.1.1 三重大学の教育に対するニーズ（全卒業生）

卒業生からの全回答（194名）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「1. 広い視野で多面的に考える力」について、50%以上の卒業生が選択した。次いで「9. 専門知識や技術」を選択した卒業生が多かった。

表3.1.1 三重大学の教育に対するニーズ(全卒業生)

	全卒業生 (194名中)	
	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	106	54.6%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	65	33.5%
3 外国語でコミュニケーションをする力	61	31.4%
4 人と共同して仕事をする力	74	38.1%
5 文章作成や文章表現の力	54	27.8%
6 情報を収集して適切に処理する力	55	28.4%
7 一般常識	58	29.9%
8 基礎学力	38	19.6%
9 専門知識や技術	83	42.8%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	36	18.6%
11 自立的に自らが決断する力	70	36.1%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	65	33.5%
13 その他	4	2.1%

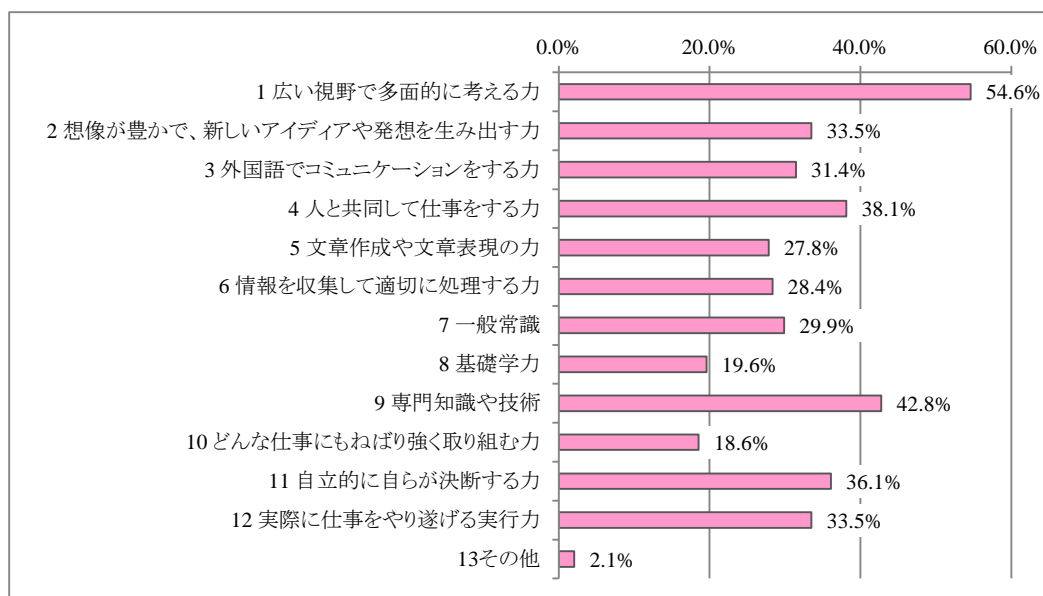


図3.1.1 三重大学の教育に対するニーズ(全卒業生)

3.1.2 三重大大学の教育に対するニーズ（人文学部卒業生）

人文学部の卒業生（44名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表3.1.2 三重大大学の教育に対するニーズ(人文学部卒業生)

	人文学部卒業生 (44名中)	
	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	25	56.8%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	14	31.8%
3 外国語でコミュニケーションをする力	15	34.1%
4 人と共同して仕事をする力	20	45.5%
5 文章作成や文章表現の力	15	34.1%
6 情報を収集して適切に処理する力	18	40.9%
7 一般常識	14	31.8%
8 基礎学力	7	15.9%
9 専門知識や技術	12	27.3%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	5	11.4%
11 自立的に自らが決断する力	15	34.1%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	15	34.1%
13 その他	1	2.3%

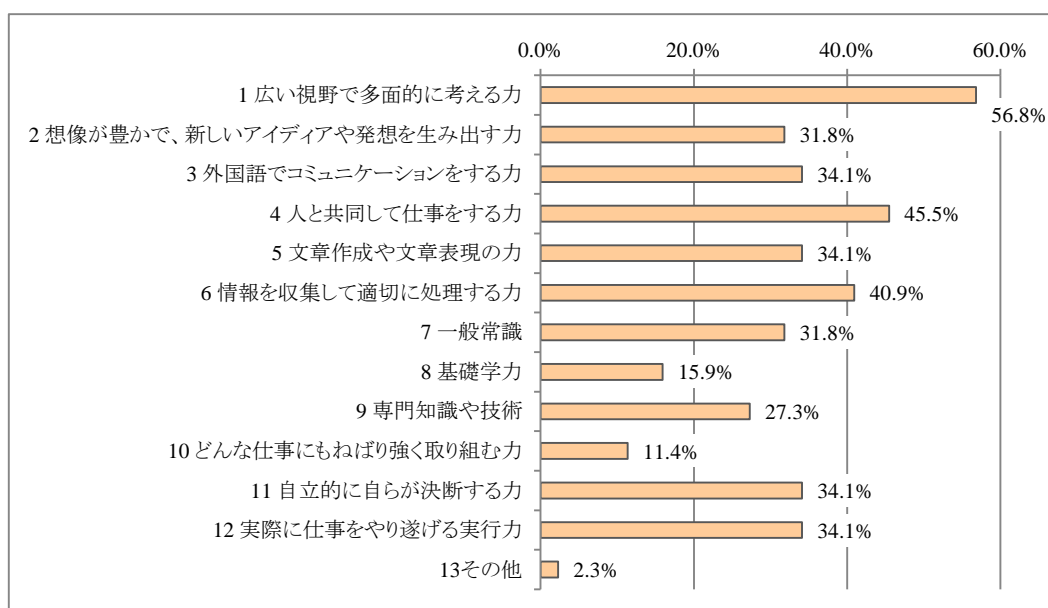


図3.1.2 三重大大学の教育に対するニーズ(人文学部卒業生)

3.1.3 三重大大学の教育に対するニーズ（教育学部卒業生）

教育学部の卒業生（41名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表3.1.3 三重大大学の教育に対するニーズ(教育学部卒業生)

	教育学部卒業生 (41名中)	
	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	18	43.9%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	16	39.0%
3 外国語でコミュニケーションをする力	9	22.0%
4 人と共同して仕事をする力	22	53.7%
5 文章作成や文章表現の力	9	22.0%
6 情報を収集して適切に処理する力	11	26.8%
7 一般常識	13	31.7%
8 基礎学力	3	7.3%
9 専門知識や技術	20	48.8%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	13	31.7%
11 自立的に自らが決断する力	11	26.8%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	19	46.3%
13 その他	0	0.0%

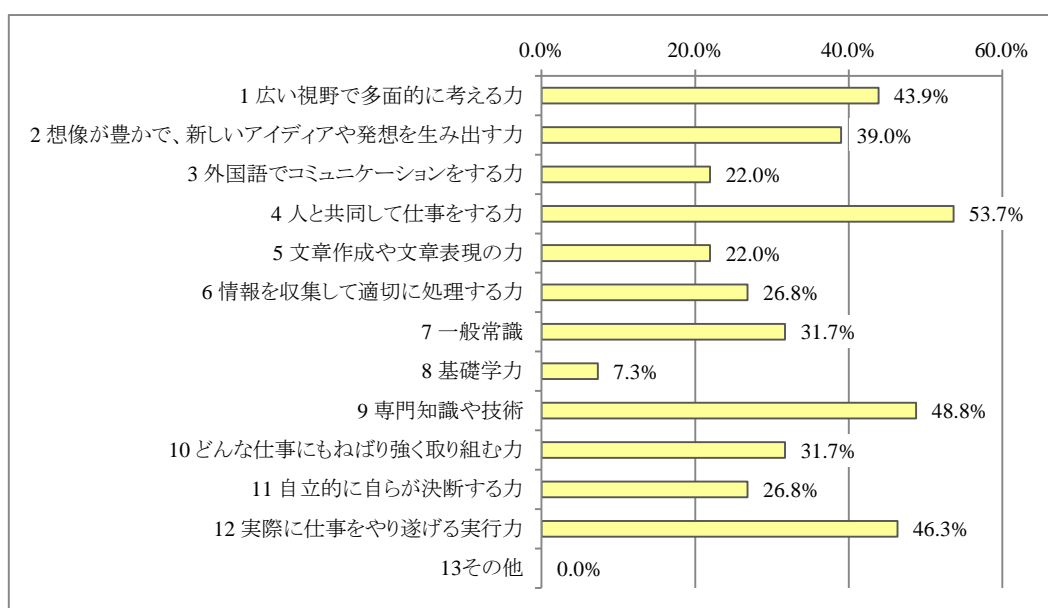


図3.1.3 三重大大学の教育に対するニーズ(教育学部卒業生)

3.1.4 三重大大学の教育に対するニーズ（医学部卒業生）

医学部の卒業生（22名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表3.1.4 三重大大学の教育に対するニーズ(医学部卒業生)

	医学部卒業生 (22名中)	
	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	15	68.2%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	5	22.7%
3 外国語でコミュニケーションをする力	12	54.5%
4 人と共同して仕事をする力	8	36.4%
5 文章作成や文章表現の力	7	31.8%
6 情報を収集して適切に処理する力	3	13.6%
7 一般常識	11	50.0%
8 基礎学力	5	22.7%
9 専門知識や技術	5	22.7%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	4	18.2%
11 自立的に自らが決断する力	9	40.9%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	4	18.2%
13 その他	0	0.0%

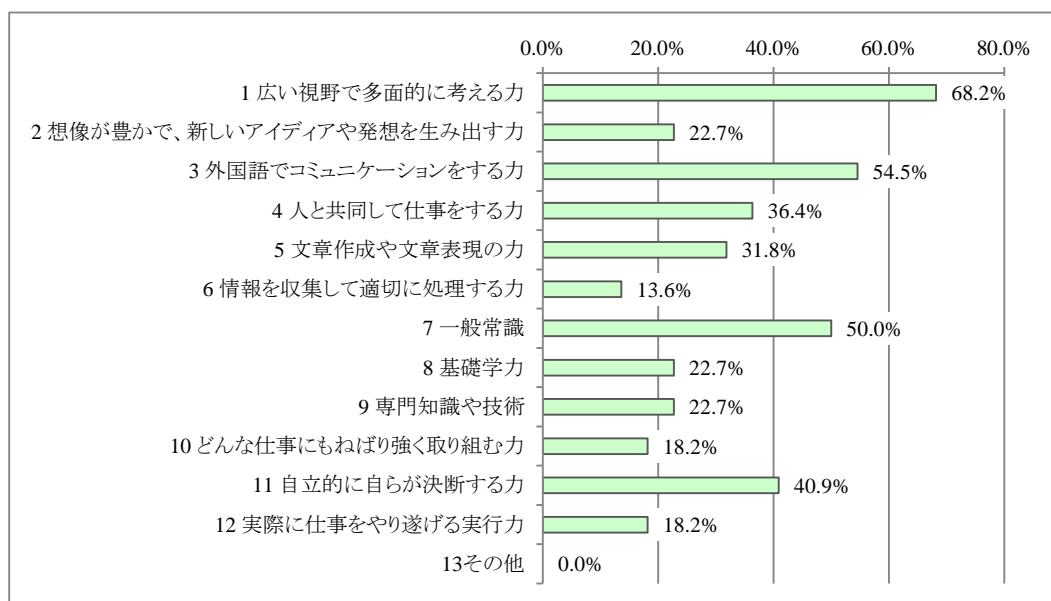


図3.1.4 三重大大学の教育に対するニーズ(医学部卒業生)

3.1.5 三重大大学の教育に対するニーズ（工学部卒業生）

工学部の卒業生（46名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表3.1.5 三重大大学の教育に対するニーズ(工学部卒業生)

	工学部卒業生 (46名中)	
	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	25	54.3%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	16	34.8%
3 外国語でコミュニケーションをする力	14	30.4%
4 人と共同して仕事をする力	15	32.6%
5 文章作成や文章表現の力	13	28.3%
6 情報を収集して適切に処理する力	11	23.9%
7 一般常識	8	17.4%
8 基礎学力	14	30.4%
9 専門知識や技術	27	58.7%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	6	13.0%
11 自立的に自らが決断する力	20	43.5%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	14	30.4%
13 その他	1	2.2%

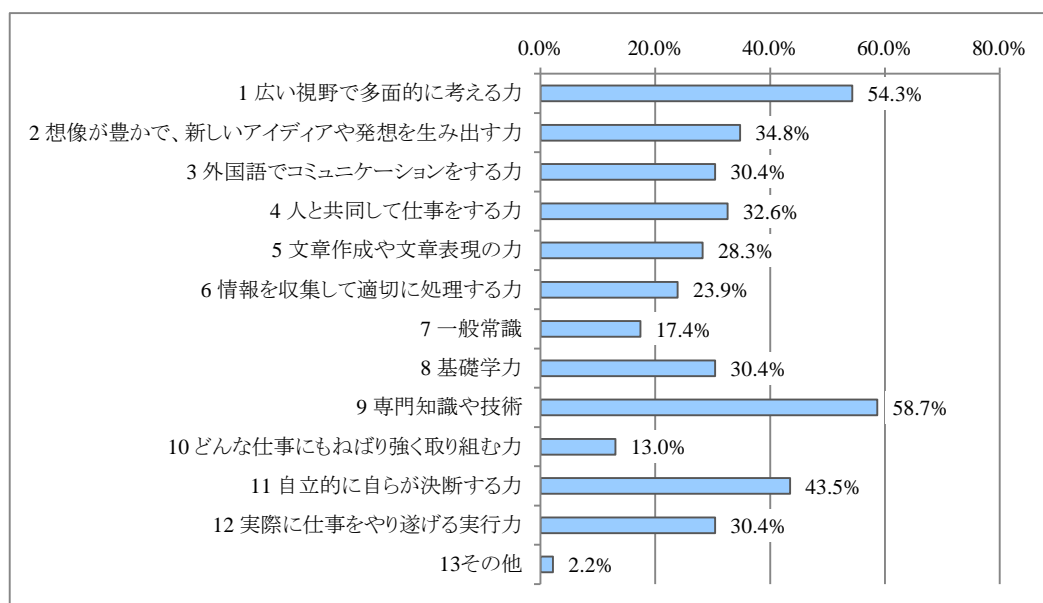


図3.1.5 三重大大学の教育に対するニーズ(工学部卒業生)

3.1.6 三重大大学の教育に対するニーズ（生物資源学部卒業生）

生物資源学部の卒業生（41名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表3.1.6 三重大大学の教育に対するニーズ(生物資源学部卒業生)

	生物資源学部卒業生 (41名中)	
	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	23	56.1%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	14	34.1%
3 外国語でコミュニケーションをする力	11	26.8%
4 人と共同して仕事をする力	9	22.0%
5 文章作成や文章表現の力	10	24.4%
6 情報を収集して適切に処理する力	12	29.3%
7 一般常識	12	29.3%
8 基礎学力	9	22.0%
9 専門知識や技術	19	46.3%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	8	19.5%
11 自立的に自らが決断する力	15	36.6%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	13	31.7%
13 その他	2	4.9%

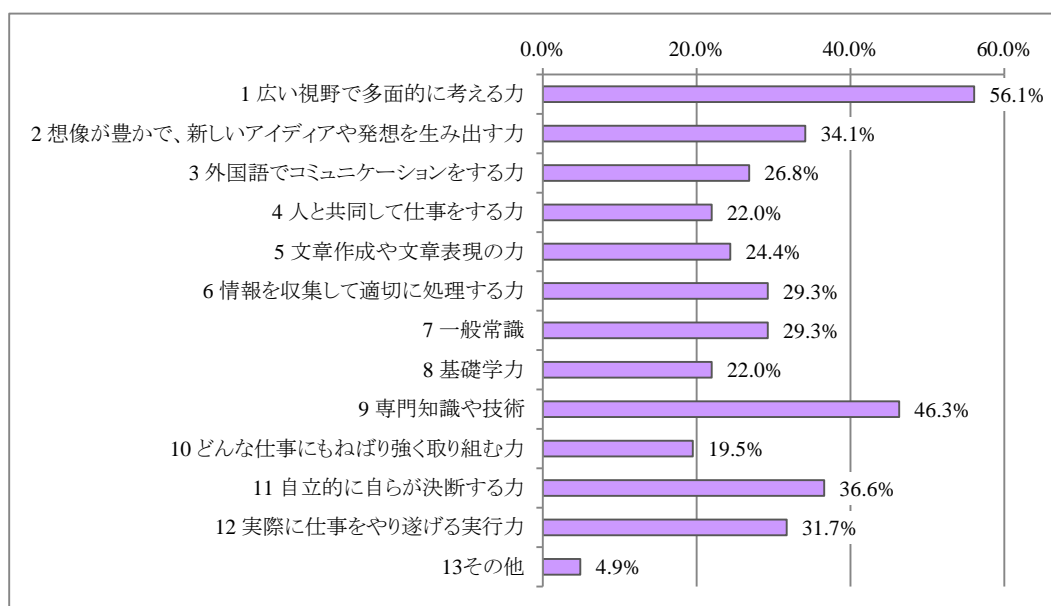


図3.1.6 三重大大学の教育に対するニーズ(生物資源学部卒業生)

3.2 三重大学大学院の教育に対するニーズ（修了生）

三重大学大学院ではどのような力の育成に重点を置いて教育すべきかを修了生にたずねた。回答は、13個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた（選択肢は卒業生と共通）。修了生からの全回答（67名）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。修了生の回答数は少ないため、研究科別の結果は掲載しないこととした。

その結果、「1. 広い視野で多面的に考える力」について、50%以上の修了生が選択した。その他には、「6. 情報を収集して適切に処理する力」や「9. 専門知識や技術」などを選択する修了生が多かった。

表3.2 三重大学大学院の教育に対するニーズ(全修了生)

	全修了生 (67名中)	
	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	38	56.7%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	23	34.3%
3 外国語でコミュニケーションをする力	20	29.9%
4 人と共同して仕事をする力	22	32.8%
5 文章作成や文章表現の力	18	26.9%
6 情報を収集して適切に処理する力	30	44.8%
7 一般常識	7	10.4%
8 基礎学力	20	29.9%
9 専門知識や技術	32	47.8%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	12	17.9%
11 自立的に自らが決断する力	19	28.4%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	17	25.4%
13 その他	2	3.0%

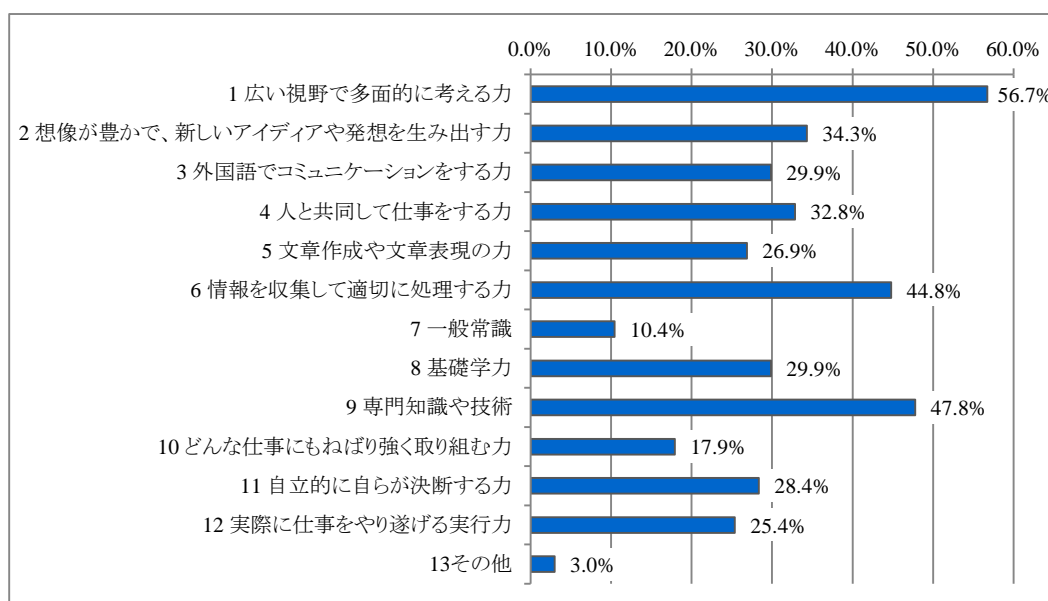


表3.2 三重大学大学院の教育に対するニーズ(全修了生)

第4章 大学/大学院生活で重点を置いたこと

4.1 大学生活で重点を置いたこと（卒業生）

大学生活で特に重点を置いていたものについて卒業生にたずねた。回答は、21個の選択肢の中から、2つ選択するように求めた。全卒業生、および卒業学部別に各項目を選択した人数とその割合を算出した。

4.1.1 大学生活で重点を置いたこと（全卒業生）

卒業生からの全回答（194名）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「2. 学部専門の授業」を選択する卒業生が最も多かった。その他には、「6. 卒業研究」や「13. クラブ・サークル」を選択する卒業生が多かった。

表4.1.1 大学生活で重点を置いたこと（全卒業生）

	全卒業生 (194名中)	
	人	%
1 共通教育の授業	5	2.6%
2 学部専門の授業	89	45.9%
3 語学系の授業	13	6.7%
4 情報の授業	0	0.0%
5 PBLに関連する授業	2	1.0%
6 卒業研究	58	29.9%
7 (研究室での)共同研究	10	5.2%
8 ゼミ	30	15.5%
9 実習	29	14.9%
10 ボランティア	1	0.5%
11 学部専攻を生かしたボランティア	4	2.1%
12 留学	10	5.2%
13 クラブ・サークル	63	32.5%
14 アルバイト	29	14.9%
15 学生自治活動	2	1.0%
16 インターンシップ	2	1.0%
17 就職活動	13	6.7%
18 採用資格準備	6	3.1%
19 専門学校	1	0.5%
20 レジャー	15	7.7%
21 その他	5	2.6%

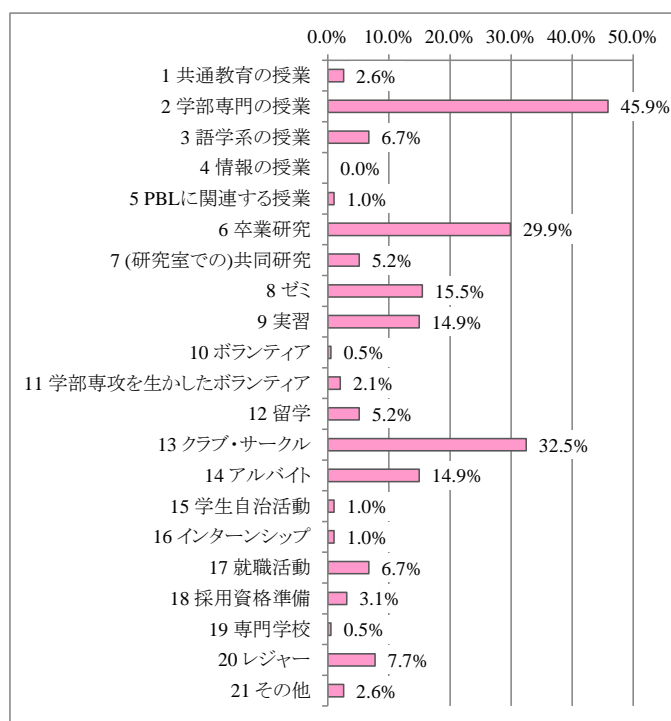


図4.1.1 大学生活で重点を置いたこと(全卒業生)

4.1.2 大学生活で重点を置いたこと（人文学部卒業生）

人文学部の卒業生（44名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表4.1.2 大学生活で重点を置いたこと（人文学部卒業生）

	人文学部卒業生 (44名中)	
	人	%
1 共通教育の授業	1	2.3%
2 学部専門の授業	19	43.2%
3 語学系の授業	5	11.4%
4 情報の授業	0	0.0%
5 PBLに関連する授業	0	0.0%
6 卒業研究	6	13.6%
7 (研究室での)共同研究	1	2.3%
8 ゼミ	17	38.6%
9 実習	1	2.3%
10 ボランティア	0	0.0%
11 学部専攻を生かしたボランティア	1	2.3%
12 留学	2	4.5%
13 クラブ・サークル	10	22.7%
14 アルバイト	8	18.2%
15 学生自治活動	1	2.3%
16 インターンシップ	1	2.3%
17 就職活動	2	4.5%
18 採用資格準備	5	11.4%
19 専門学校	1	2.3%
20 レジャー	6	13.6%
21 その他	1	2.3%

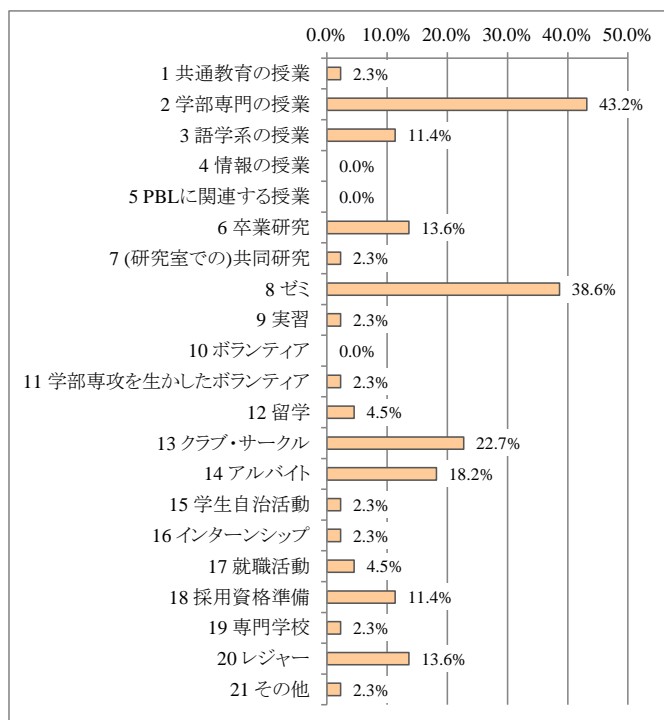


図4.1.2 大学生活で重点を置いたこと(人文学部卒業生)

4.1.3 大学生活で重点を置いたこと（教育学部卒業生）

教育学部の卒業生（41名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表4.1.3 大学生活で重点を置いたこと（教育学部卒業生）

	教育学部卒業生 (41名中)	
	人	%
1 共通教育の授業	1	2.4%
2 学部専門の授業	18	43.9%
3 語学系の授業	3	7.3%
4 情報の授業	0	0.0%
5 PBLに関連する授業	0	0.0%
6 卒業研究	9	22.0%
7 (研究室での)共同研究	0	0.0%
8 ゼミ	7	17.1%
9 実習	13	31.7%
10 ボランティア	1	2.4%
11 学部専攻を生かしたボランティア	3	7.3%
12 留学	3	7.3%
13 クラブ・サークル	14	34.1%
14 アルバイト	3	7.3%
15 学生自治活動	0	0.0%
16 インターンシップ	0	0.0%
17 就職活動	3	7.3%
18 採用資格準備	1	2.4%
19 専門学校	0	0.0%
20 レジャー	2	4.9%
21 その他	1	2.4%

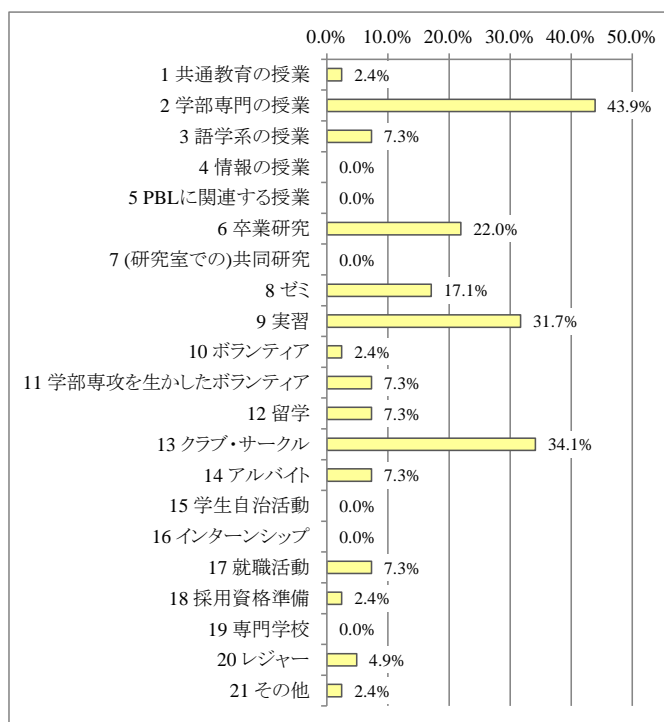


図4.1.3 大学生活で重点を置いたこと(教育学部卒業生)

4.1.4 大学生生活で重点を置いたこと（医学部卒業生）

医学部の卒業生（22名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表4.1.4 大学生生活で重点を置いたこと（医学部卒業生）

	医学部卒業生 (22名中)	
	人	%
1 共通教育の授業	1	4.5%
2 学部専門の授業	12	54.5%
3 語学系の授業	2	9.1%
4 情報の授業	0	0.0%
5 PBLに関連する授業	1	4.5%
6 卒業研究	2	9.1%
7 (研究室での)共同研究	0	0.0%
8 ゼミ	1	4.5%
9 実習	7	31.8%
10 ボランティア	0	0.0%
11 学部専攻を生かしたボランティア	0	0.0%
12 留学	2	9.1%
13 クラブ・サークル	10	45.5%
14 アルバイト	5	22.7%
15 学生自治活動	0	0.0%
16 インターンシップ	0	0.0%
17 就職活動	0	0.0%
18 採用資格準備	0	0.0%
19 専門学校	0	0.0%
20 レジャー	1	4.5%
21 その他	1	4.5%

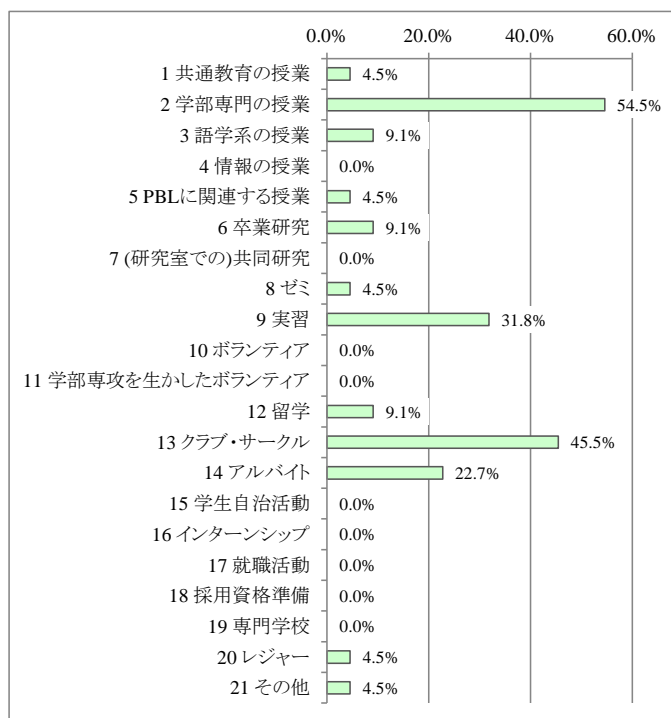


図4.1.4 大学生生活で重点を置いたこと(医学部卒業生)

4.1.5 大学生生活で重点を置いたこと（工学部卒業生）

工学部の卒業生（46名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表4.1.5 大学生生活で重点を置いたこと（工学部卒業生）

	工学部卒業生 (46名中)	
	人	%
1 共通教育の授業	1	2.2%
2 学部専門の授業	29	63.0%
3 語学系の授業	3	6.5%
4 情報の授業	0	0.0%
5 PBLに関連する授業	0	0.0%
6 卒業研究	19	41.3%
7 (研究室での)共同研究	4	8.7%
8 ゼミ	3	6.5%
9 実習	1	2.2%
10 ボランティア	0	0.0%
11 学部専攻を生かしたボランティア	0	0.0%
12 留学	3	6.5%
13 クラブ・サークル	12	26.1%
14 アルバイト	6	13.0%
15 学生自治活動	0	0.0%
16 インターンシップ	1	2.2%
17 就職活動	6	13.0%
18 採用資格準備	0	0.0%
19 専門学校	0	0.0%
20 レジャー	3	6.5%
21 その他	1	2.2%

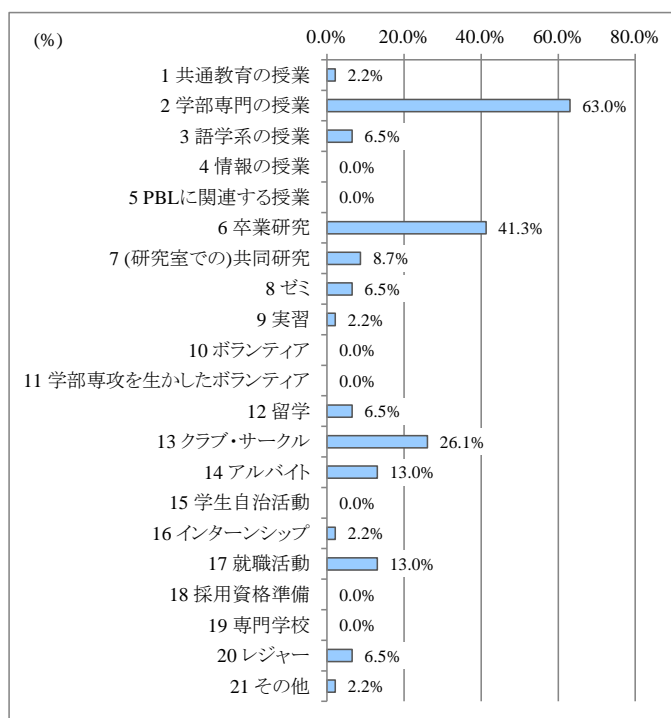


図4.1.5 大学生生活で重点を置いたこと(工学部卒業生)

4.1.6 大学生活で重点を置いたこと（生物資源学部卒業生）

生物資源学部の卒業生（41名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表4.1.6 大学生活で重点を置いたこと(生物資源学部卒業生)

	生物資源学部卒業生 (41名中)	
	人	%
1 共通教育の授業	1	2.4%
2 学部専門の授業	11	26.8%
3 語学系の授業	0	0.0%
4 情報の授業	0	0.0%
5 PBLに関連する授業	1	2.4%
6 卒業研究	22	53.7%
7 (研究室での)共同研究	5	12.2%
8 ゼミ	2	4.9%
9 実習	7	17.1%
10 ボランティア	0	0.0%
11 学部専攻を生かしたボランティア	0	0.0%
12 留学	0	0.0%
13 クラブ・サークル	17	41.5%
14 アルバイト	7	17.1%
15 学生自治活動	1	2.4%
16 インターンシップ	0	0.0%
17 就職活動	2	4.9%
18 採用資格準備	0	0.0%
19 専門学校	0	0.0%
20 レジャー	3	7.3%
21 その他	1	2.4%

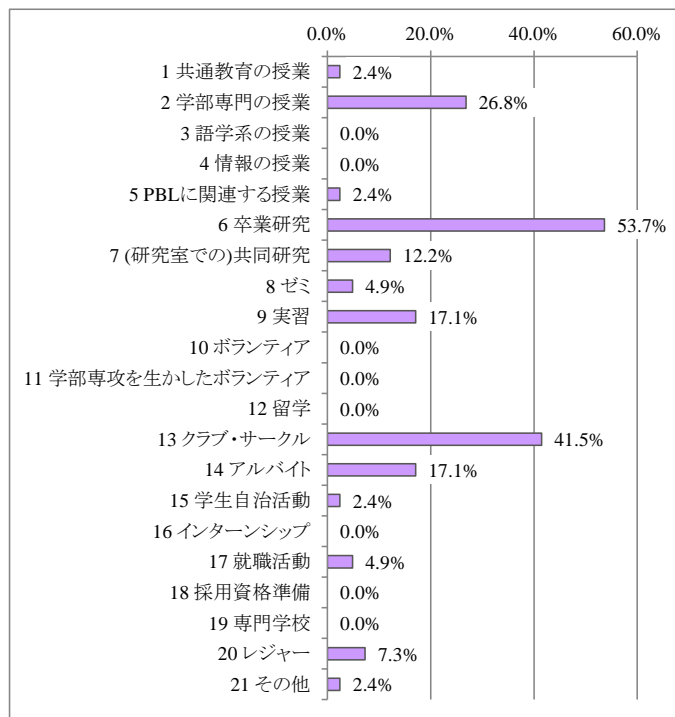


図4.1.6 大学生活で重点を置いたこと(生物資源学部卒業生)

4.2 大学院生活で重点を置いたこと（修了生）

大学院生活で特に重点を置いていたものについて修了生にたずねた。回答は、18個の選択肢の中から、2つ選択するように求めた。修了生からの全回答（67名）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。修了生の回答数は少ないため、研究科別の結果は掲載しないこととした。

その結果、「3. 学位論文」が最も選択率が高く、60%以上の修了生が選択した。その他にも「1. 大学院の授業」や「4. 共同研究」、「5. ゼミ」などを選択した修了生が多かった。

表4.2 大学院生活で重点を置いたこと(全修了生)

	全修了生 (67名中)	
	人	%
1 大学院の授業	17	25.4%
2 PBLに関連する授業	1	1.5%
3 学位論文	42	62.7%
4 (研究室での)共同研究	22	32.8%
5 ゼミ	15	22.4%
6 実習	3	4.5%
7 ボランティア	4	6.0%
8 学部専攻を生かしたボランティア	0	0.0%
9 留学	3	4.5%
10 クラブ・サークル	3	4.5%
11 アルバイト	2	3.0%
12 学生自治活動	0	0.0%
13 インターンシップ	3	4.5%
14 就職活動	9	13.4%
15 採用資格準備	0	0.0%
16 専門学校	0	0.0%
17 レジャー	2	3.0%
18 その他	2	3.0%

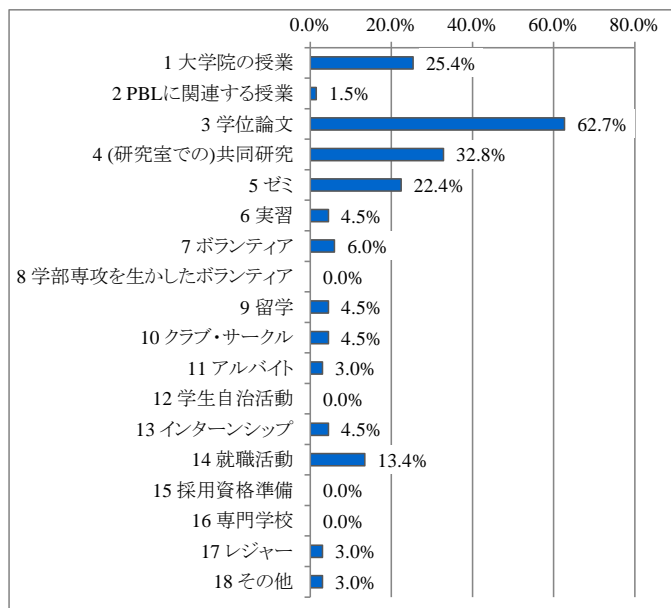


図4.2 大学院生活で重点を置いたこと(全修了生)

第5章 三重大学/三重大学大学院での教育・研究で身についたこと

5.1 三重大学の教育で身についたこと（卒業生）

三重大学の教育によって力が身についた程度を、「身につかなかった」から「十分身についた」の4段階で回答を求めた（28項目）。以下に、全卒業生と卒業学部ごとの平均値と標準偏差、修得群を示す。平均値と標準偏差は、身についたと感じる度合いを表す4段階評定において「身につかなかった」1点、「あまり身につかなかった」2点、「ある程度身についた」3点、「十分身についた」4点として算出した。修得群は、4段階のうち「ある程度身についた」、「十分身についた」のいずれかに回答した卒業生の割合である。

5.1.1 三重大学の教育で身についたこと（全卒業生）

卒業生からの全回答（194名）について、28項目の平均値と標準偏差、修得群を算出した。

表5.1.1 三重大学の教育で身についたこと（全卒業生）

項目	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	2.88	0.63	77.2
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.02	0.63	84.9
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.78	0.66	70.5
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.89	0.69	74.1
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.53	0.72	50.3
6 事実や他者に対する誠実さ	3.02	0.71	81.3
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.30	0.66	90.1
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.15	0.69	86.5
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.04	0.78	83.3
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.01	0.82	27.1
11 プレゼンテーションをする力	2.83	0.82	66.7
12 ディスカッションをする力	2.78	0.76	66.1
13 人と協同して仕事をする力	3.03	0.65	83.9
14 文章作成や文章表現の力	2.77	0.74	66.7
15 情報を収集して適切に処理する力	2.91	0.59	80.6
16 情報機器を活用する力	2.73	0.78	62.0
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.66	0.70	59.9
18 人間や社会についての理解・知識	2.83	0.71	72.9
19 自然科学に関する基礎知識	2.63	0.79	57.8
20 一般常識	2.77	0.65	71.9
21 基礎学力	2.97	0.65	82.3
22 専門知識や技術	3.22	0.57	93.2
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	2.95	0.68	76.0
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	2.99	0.74	77.1
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	2.90	0.80	71.4
26 意欲的に物事に取り組む力	3.03	0.67	84.4
27 自立的に自らが決断する力	2.95	0.69	79.7
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	2.95	0.69	79.2

その結果、「7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力」や「22. 専門知識や技術」は、平均値が非常に高く、90%以上の卒業生が身についたと感じていることが示された。その他にも、「2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力」や「6. 事実や他者に対する誠実さ」、「8. 他者に対する柔軟性や他者との調整力」、「9. 日常的なコミュニケーションをする力」、「13. 人と協同して仕事をする力」、「26. 意欲的に物事に取り組む力」については、3点（4段階評定で「ある程度身についた」にあたる）以上と平均値が高く、80%以上の卒業生が身についたと感じていることが示された。

一方、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」については、全項目の中で平均値が最も低く、身についたと感じている卒業生は非常に少なかった。次いで、「5. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力」の平均値がやや低く、身についたと感じた卒業生は約半数であった。

5.1.2 三重大大学の教育で身についたこと（人文学部卒業生）

卒業生からの全回答のうち、人文学部卒業生（44名）の28項目に対する回答について、平均値と標準偏差、修得群を算出した。

表5.1.2 三重大大学の教育で身についたこと（人文学部卒業生）

項目	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	2.95	0.68	75.0
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.18	0.76	88.6
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.80	0.76	63.6
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	3.05	0.65	81.8
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.50	0.63	47.7
6 事実や他者に対する誠実さ	2.98	0.76	75.0
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.43	0.70	88.6
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.07	0.82	75.0
9 日常的なコミュニケーションをする力	2.95	0.89	77.3
10 外国語でコミュニケーションをする力	1.91	0.83	25.0
11 プレゼンテーションをする力	2.70	0.88	61.4
12 ディスカッションをする力	2.80	0.85	65.9
13 人と協同して仕事をする力	3.09	0.74	81.8
14 文章作成や文章表現の力	3.07	0.76	84.1
15 情報を収集して適切に処理する力	3.09	0.65	88.4
16 情報機器を活用する力	2.45	0.87	47.7
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.52	0.79	52.3
18 人間や社会についての理解・知識	3.02	0.82	81.8
19 自然科学に関する基礎知識	2.20	0.76	31.8
20 一般常識	2.75	0.81	65.9
21 基礎学力	2.91	0.74	77.3
22 専門知識や技術	3.05	0.57	86.4
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	2.98	0.66	77.3
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	2.98	0.79	72.7
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	2.89	0.81	70.5
26 意欲的に物事に取り組む力	3.07	0.79	81.8
27 自立的に自らが決断する力	2.95	0.75	79.5
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	2.86	0.77	72.7

5.1.3 三重大大学の教育で身についたこと（教育学部卒業生）

卒業生からの全回答のうち、教育学部卒業生（41名）の28項目に対する回答について、平均値と標準偏差、修得群を算出した。

表5.1.3 三重大大学の教育で身についたこと（教育学部卒業生）

項目	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	3.00	0.45	90.2
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	2.90	0.62	80.5
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.90	0.66	78.0
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.93	0.69	73.2
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.66	0.73	56.1
6 事実や他者に対する誠実さ	3.17	0.54	92.7
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.29	0.60	92.7
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.24	0.58	92.7
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.07	0.72	87.8
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.00	0.81	22.0
11 プレゼンテーションをする力	2.88	0.68	70.7
12 ディスカッションをする力	2.73	0.67	65.9
13 人と協同して仕事をする力	3.17	0.59	90.2
14 文章作成や文章表現の力	2.76	0.66	68.3
15 情報を収集して適切に処理する力	2.88	0.51	80.5
16 情報機器を活用する力	2.63	0.62	56.1
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.78	0.61	68.3
18 人間や社会についての理解・知識	2.73	0.59	65.9
19 自然科学に関する基礎知識	2.46	0.67	46.3
20 一般常識	2.76	0.54	70.7
21 基礎学力	3.02	0.52	92.7
22 専門知識や技術	3.24	0.43	100.0
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.02	0.65	80.5
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.05	0.59	85.4
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	2.93	0.69	73.2
26 意欲的に物事に取り組む力	3.12	0.51	92.7
27 自立的に自らが決断する力	3.10	0.62	90.2
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.07	0.61	85.4

5.1.4 三重大学の教育で身についたこと（医学部卒業生）

卒業生からの全回答のうち、医学部卒業生（22名）の28項目に対する回答について、平均値と標準偏差、修得群を算出した。

表5.1.4 三重大学の教育で身についたこと（医学部卒業生）

項目	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	2.86	0.64	81.8
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	2.95	0.49	86.4
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.91	0.43	86.4
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.91	0.53	81.8
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.73	0.77	63.6
6 事実や他者に対する誠実さ	3.18	0.59	90.9
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.32	0.57	95.5
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.23	0.61	90.9
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.23	0.53	95.5
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.59	0.73	54.5
11 プレゼンテーションをする力	2.55	0.67	54.5
12 ディスカッションをする力	2.77	0.61	77.3
13 人と協同して仕事をする力	3.18	0.59	90.9
14 文章作成や文章表現の力	2.86	0.71	77.3
15 情報を収集して適切に処理する力	2.82	0.59	81.8
16 情報機器を活用する力	2.68	0.72	63.6
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.77	0.69	72.7
18 人間や社会についての理解・知識	2.86	0.71	77.3
19 自然科学に関する基礎知識	2.64	0.66	63.6
20 一般常識	2.82	0.59	81.8
21 基礎学力	3.14	0.56	90.9
22 専門知識や技術	3.32	0.48	100.0
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	2.95	0.65	77.3
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	2.95	0.65	77.3
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.00	0.76	81.8
26 意欲的に物事に取り組む力	3.09	0.61	86.4
27 自立的に自らが決断する力	3.05	0.65	81.8
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.05	0.65	81.8

5.1.5 三重大大学の教育で身についたこと（工学部卒業生）

卒業生からの全回答のうち、工学部卒業生（46名）の28項目に対する回答について、平均値と標準偏差、修得群を算出した。

表5.1.5 三重大大学の教育で身についたこと（工学部卒業生）

項目	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	2.70	0.70	65.2
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.00	0.63	80.4
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.76	0.67	67.4
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.76	0.82	65.2
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.43	0.75	45.7
6 事実や他者に対する誠実さ	2.83	0.77	73.9
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.22	0.63	89.1
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.02	0.68	87.0
9 日常的なコミュニケーションをする力	2.98	0.75	80.4
10 外国語でコミュニケーションをする力	1.93	0.80	23.9
11 プレゼンテーションをする力	2.80	0.81	65.2
12 ディスカッションをする力	2.67	0.79	56.5
13 人と協同して仕事をする力	2.80	0.62	73.9
14 文章作成や文章表現の力	2.54	0.81	47.8
15 情報を収集して適切に処理する力	2.83	0.49	78.3
16 情報機器を活用する力	3.04	0.73	76.1
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.74	0.65	63.0
18 人間や社会についての理解・知識	2.78	0.66	69.6
19 自然科学に関する基礎知識	2.61	0.86	54.3
20 一般常識	2.78	0.63	71.7
21 基礎学力	2.91	0.66	73.9
22 専門知識や技術	3.28	0.62	91.3
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	2.89	0.74	71.7
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.02	0.77	76.1
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	2.96	0.84	71.7
26 意欲的に物事に取り組む力	2.98	0.65	82.6
27 自立的に自らが決断する力	2.87	0.69	73.9
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	2.91	0.63	76.1

5.1.6 三重大学の教育で身についたこと（生物資源学部卒業生）

卒業生からの全回答のうち、生物資源学部卒業生（41名）の28項目に対する回答について、平均値と標準偏差、修得群を算出した。

表5.1.6 三重大学の教育で身についたこと（生物資源学部卒業生）

項目	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	2.88	0.65	77.5
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.00	0.56	89.7
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.60	0.59	65.0
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.83	0.68	72.5
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.45	0.75	45.0
6 事実や他者に対する誠実さ	3.03	0.74	79.5
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.26	0.75	87.2
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.23	0.71	89.7
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.05	0.86	82.1
10 外国語でコミュニケーションをする力	1.90	0.82	23.1
11 プレゼンテーションをする力	3.10	0.94	76.9
12 ディスカッションをする力	2.95	0.79	71.8
13 人と協同して仕事をする力	3.00	0.61	87.2
14 文章作成や文章表現の力	2.67	0.66	61.5
15 情報を収集して適切に処理する力	2.87	0.70	74.4
16 情報機器を活用する力	2.82	0.82	66.7
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.51	0.72	48.7
18 人間や社会についての理解・知識	2.74	0.75	71.8
19 自然科学に関する基礎知識	3.28	0.46	100.0
20 一般常識	2.77	0.67	74.4
21 基礎学力	2.95	0.72	82.1
22 専門知識や技術	3.26	0.68	92.3
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	2.90	0.72	74.4
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	2.92	0.87	74.4
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	2.77	0.87	64.1
26 意欲的に物事に取り組む力	2.92	0.74	79.5
27 自立的に自らが決断する力	2.82	0.72	74.4
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	2.92	0.77	82.1

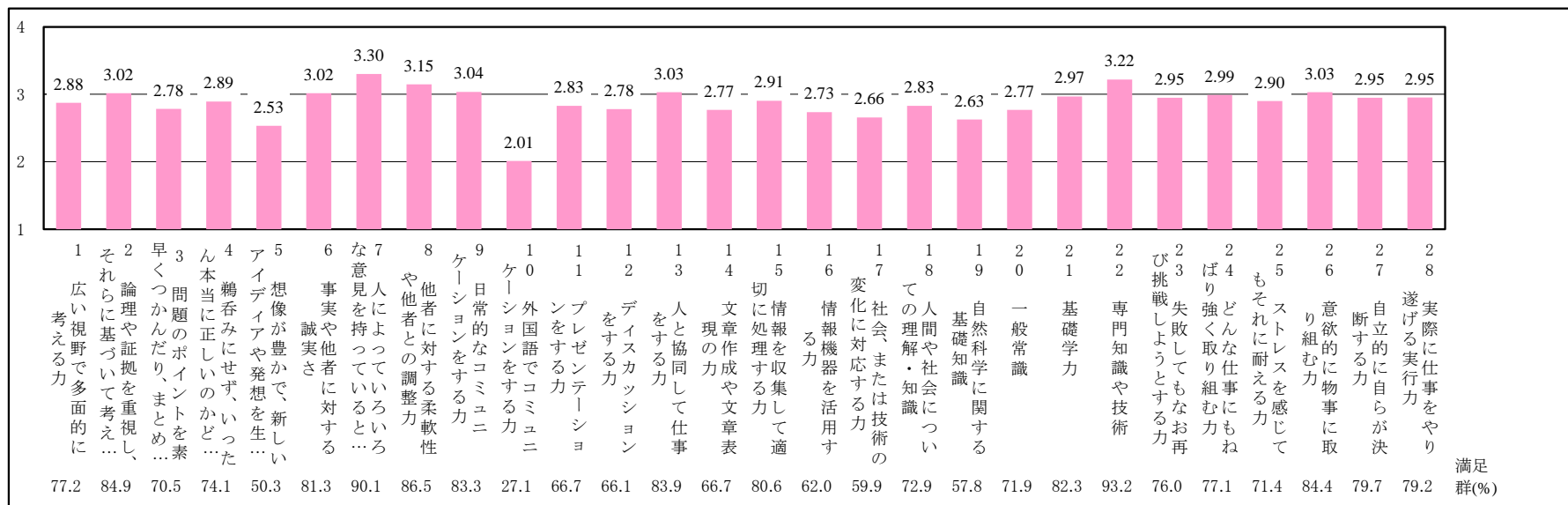


図5.1.1 三重大学の教育で身についたこと（全卒業生）

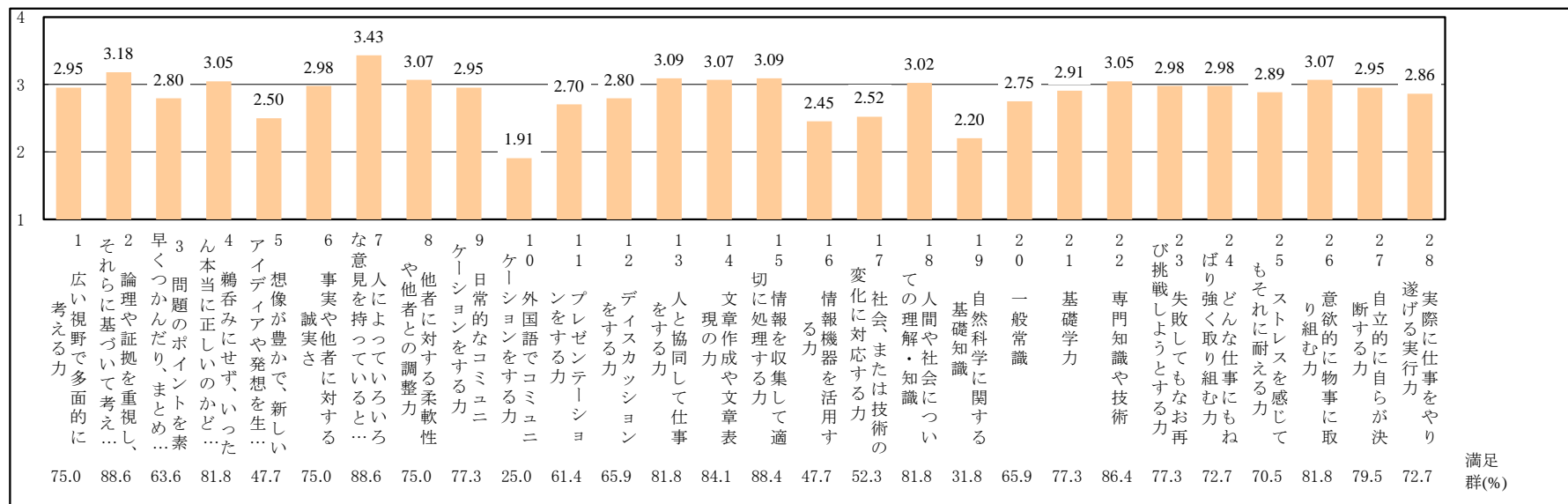


図5.1.2 三重大学の教育で身についたこと（人文学部卒業生）

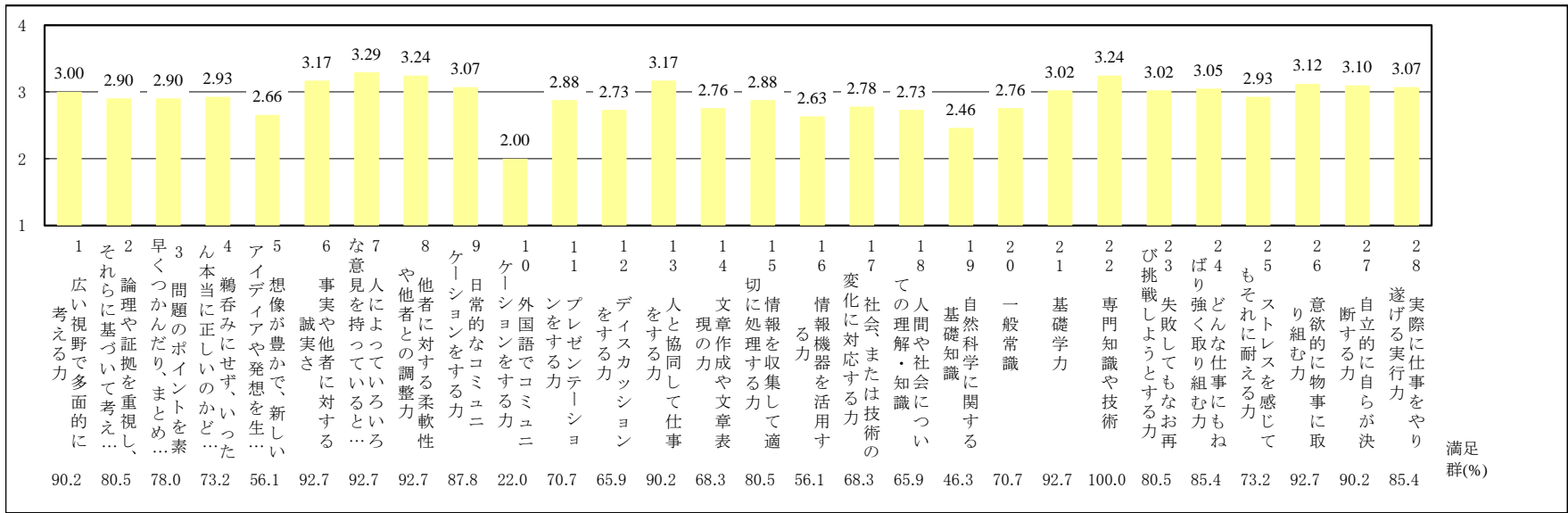


図5.1.3 三重大学の教育で身についたこと（教育学部卒業生）

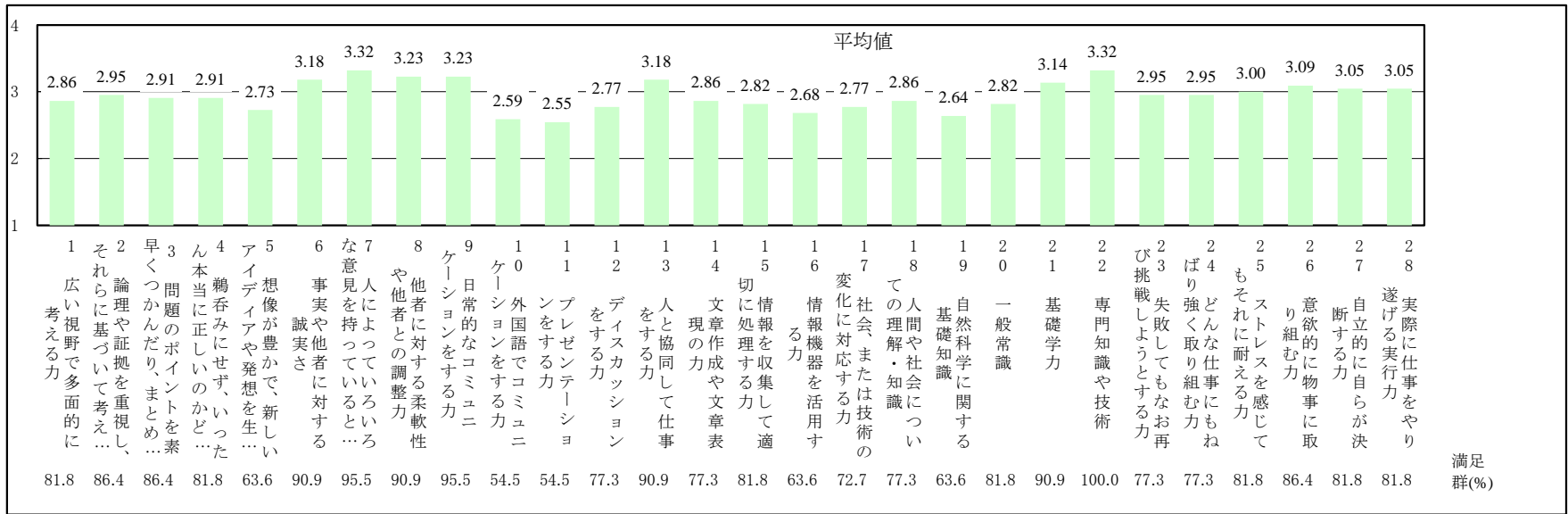


図5.1.4 三重大学の教育で身についたこと（医学部卒業生）

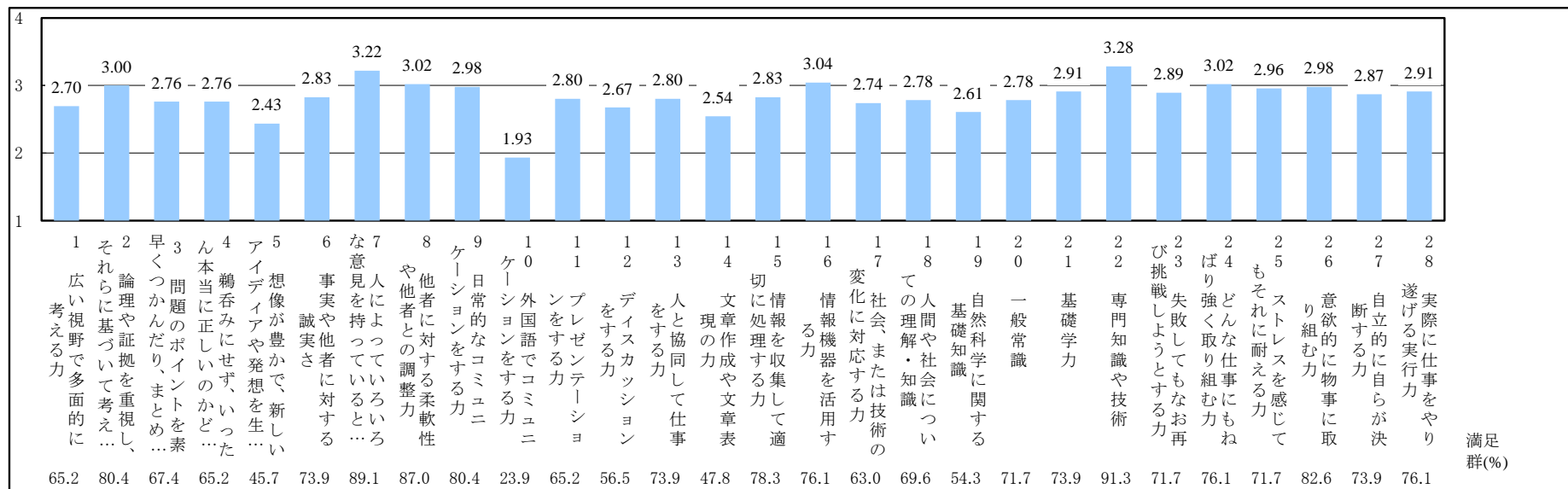


図5.1.5 三重大学の教育で身についたこと（工学部卒業生）

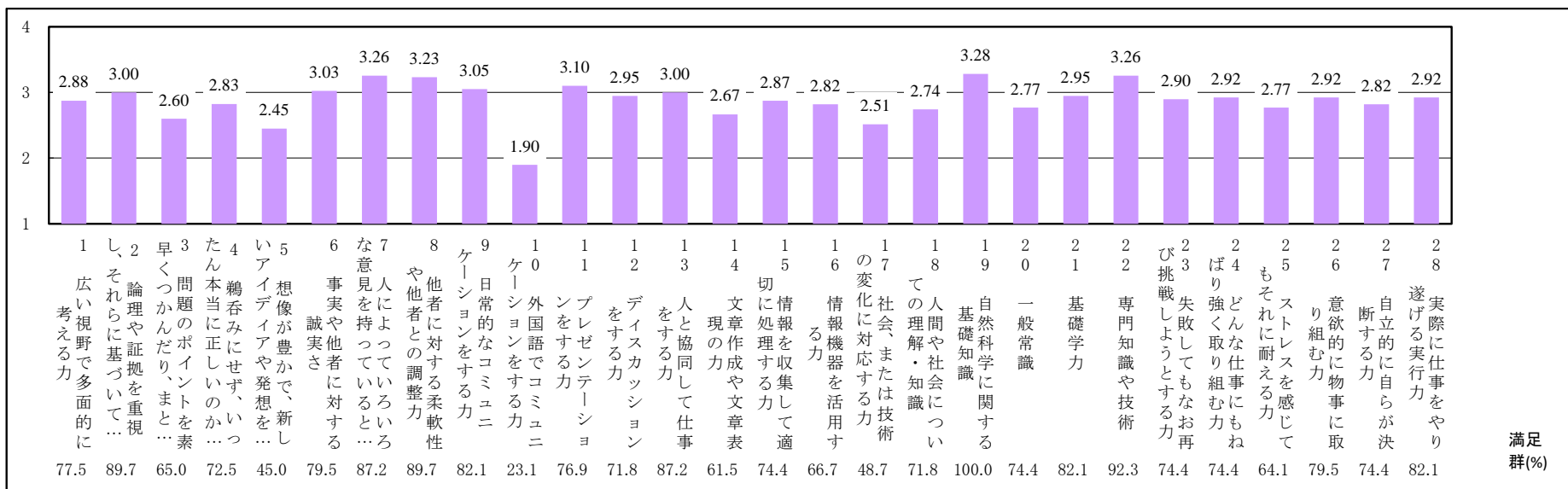


図5.1.6 三重大学の教育で身についたこと（生物資源学部卒業生）

5.2 三重大学大学院の教育・研究で身についたこと（修了生）

三重大学大学院での教育や研究によって力が身についた程度を、「身につかなかった」から「十分身についた」の4段階で回答を求めた（28項目。卒業生と共通）。以下に、修了生からの全回答（64名）の平均値と標準偏差、修得群を示す。平均値と標準偏差は、身についたと感じる度合いを表す4段階評定において、「身につかなかった」1点、「あまり身につかなかった」2点、「ある程度身についた」3点、「十分身についた」4点として算出した。修得群は、4段階のうち「ある程度身についた」、「十分身についた」のいずれかに回答した修了生の割合である。修了生の回答数は少ないため、研究科別の結果は掲載しないこととした。

28項目中16項目の平均値が3点（4段階評定で「ある程度身についた」にあたる）以上と修了生が身についたと感じている力が非常に多かった。特に、「2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力」や「11. プレゼンテーションをする力」、「22. 専門知識や技術」、「28. 実際に仕事をやり遂げる実行力」は、修得群が90%以上であった。

一方、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」については、全項目の中で平均値が最も低く、身についたと感じている修了生は非常に少なかった。次いで、「5. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力」も、平均値がやや低く、身についたと感じた修了生は約半数であった。この2項目の傾向は卒業生の結果も同様であった。

表5.2 三重大学大学院の教育・研究で身についたこと（全修了生）

項目	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	2.91	0.65	77.3
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.25	0.53	95.4
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.80	0.69	67.7
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.91	0.80	72.3
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.58	0.79	52.3
6 事実や他者に対する誠実さ	3.11	0.71	83.1
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.31	0.75	86.2
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.09	0.63	87.7
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.00	0.66	84.6
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.12	0.93	30.8
11 プレゼンテーションをする力	3.22	0.62	92.3
12 ディスカッションをする力	2.95	0.69	76.9
13 人と協同して仕事をする力	2.89	0.73	70.8
14 文章作成や文章表現の力	3.00	0.72	80.3
15 情報を収集して適切に処理する力	3.02	0.62	84.6
16 情報機器を活用する力	3.00	0.77	80.0
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.65	0.67	60.0
18 人間や社会についての理解・知識	2.77	0.77	66.2
19 自然科学に関する基礎知識	2.62	0.80	56.9
20 一般常識	2.72	0.72	66.2
21 基礎学力	2.75	0.64	67.7
22 専門知識や技術	3.23	0.58	92.4
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.12	0.74	87.7
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.22	0.76	86.2
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.11	0.86	81.3
26 意欲的に物事に取り組む力	3.08	0.76	84.6
27 自立的に自らが決断する力	3.08	0.78	80.0
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.15	0.67	90.8

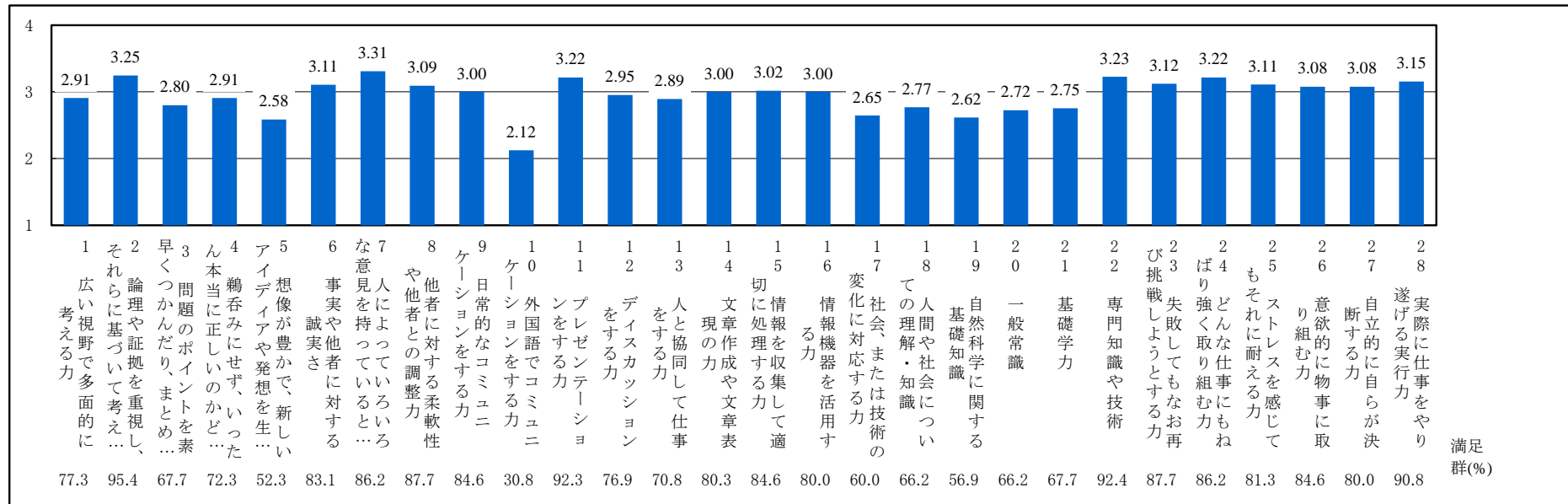


図5.2 三重大学大学院の教育・研究で身についたこと(全修了生)

第6章 社会生活の場で重要な力

6.1 社会生活の場で重要な力（卒業生）

大学卒業後の社会生活の場で特に重要だと思う力について卒業生にたずねた。回答は、17個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた。全卒業生、および卒業学部別に各項目を選択した人数とその割合を算出した。

6.1.1 社会生活の場で重要な力（全卒業生）

卒業生からの全回答（194名）について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「15. コミュニケーション力」を選択した卒業生が最も多く、60%以上の卒業生が選択した。その他には、「8. 状況を理解する力」や「11. チームで働く力」を選択する卒業生が多かった。

表6.1.1 社会生活の場で重要な力（全卒業生）

	全卒業生 (194名中)	
	人	%
1 情報収集する力	36	18.6%
2 分析する力	42	21.6%
3 構想する力	19	9.8%
4 企画する力	19	9.8%
5 判断する力	60	30.9%
6 実行する力	67	34.5%
7 人を理解する力	49	25.3%
8 状況を理解する力	75	38.7%
9 責任感	47	24.2%
10 支援・指導する力	11	5.7%
11 チームで働く力	76	39.2%
12 職業的技能	30	15.5%
13 忍耐力	51	26.3%
14 社会人マナー	51	26.3%
15 コミュニケーション力	123	63.4%
16 切磋琢磨し合える力	7	3.6%
17 その他	2	1.0%

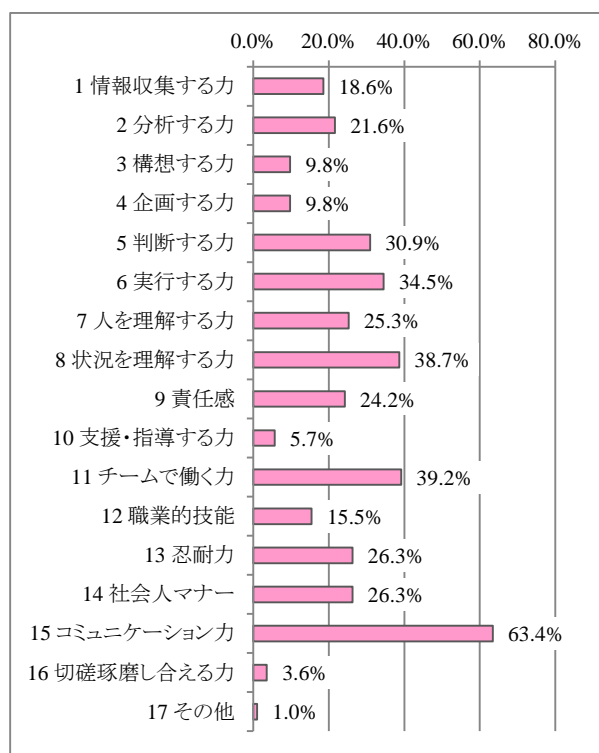


図6.1.1 社会生活の場で重要な力（全卒業生）

6.1.2 社会生活の場で重要な力（人文学部卒業生）

人文学部の卒業生（44名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表6.1.2 社会生活の場で重要な力（人文学部卒業生）

	人文学部卒業生 (44名中)	
	人	%
1 情報収集する力	7	15.9%
2 分析する力	15	34.1%
3 構想する力	3	6.8%
4 企画する力	1	2.3%
5 判断する力	18	40.9%
6 実行する力	17	38.6%
7 人を理解する力	10	22.7%
8 状況を理解する力	24	54.5%
9 責任感	11	25.0%
10 支援・指導する力	1	2.3%
11 チームで働く力	15	34.1%
12 職業的技能	1	2.3%
13 忍耐力	15	34.1%
14 社会人マナー	11	25.0%
15 コミュニケーション力	25	56.8%
16 切磋琢磨し合える力	2	4.5%
17 その他	0	0.0%

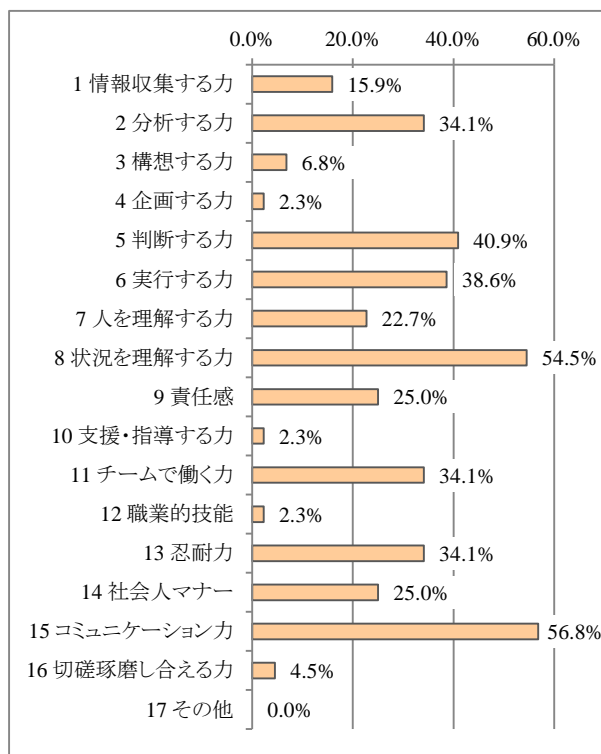


図6.1.2 社会生活の場で重要な力（人文学部卒業生）

6.1.3 社会生活の場で重要な力（教育学部卒業生）

教育学部の卒業生（41名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表6.1.3 社会生活の場で重要な力（教育学部卒業生）

	教育学部卒業生 (41名中)	
	人	%
1 情報収集する力	8	19.5%
2 分析する力	6	14.6%
3 構想する力	4	9.8%
4 企画する力	6	14.6%
5 判断する力	11	26.8%
6 実行する力	14	34.1%
7 人を理解する力	14	34.1%
8 状況を理解する力	8	19.5%
9 責任感	9	22.0%
10 支援・指導する力	4	9.8%
11 チームで働く力	19	46.3%
12 職業的技能	11	26.8%
13 忍耐力	7	17.1%
14 社会人マナー	11	26.8%
15 コミュニケーション力	28	68.3%
16 切磋琢磨し合える力	0	0.0%
17 その他	1	2.4%

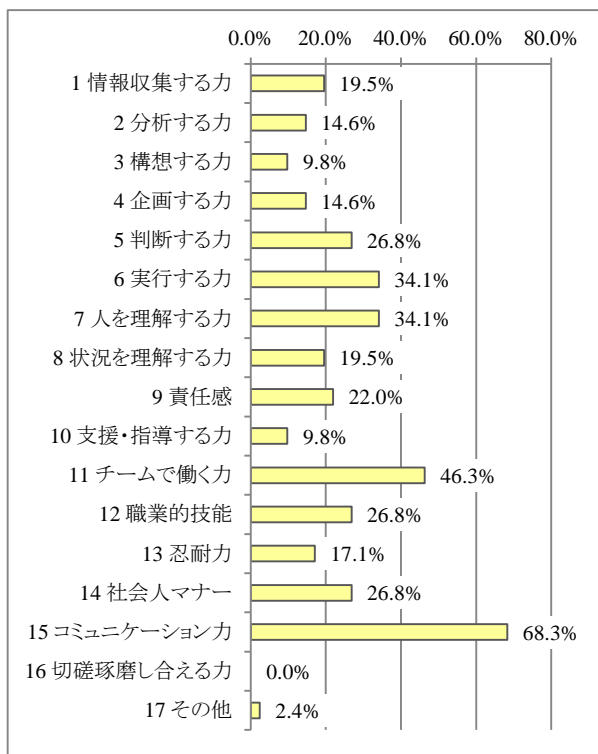


図6.1.3 社会生活の場で重要な力（教育学部卒業生）

6.1.4 社会生活の場で重要な力（医学部卒業生）

医学部の卒業生（22名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表6.1.4 社会生活の場で重要な力（医学部卒業生）

	医学部卒業生 (22名中)	
	人	%
1 情報収集する力	7	31.8%
2 分析する力	2	9.1%
3 構想する力	1	4.5%
4 企画する力	1	4.5%
5 判断する力	9	40.9%
6 実行する力	6	27.3%
7 人を理解する力	8	36.4%
8 状況を理解する力	7	31.8%
9 責任感	4	18.2%
10 支援・指導する力	1	4.5%
11 チームで働く力	7	31.8%
12 職業的技能	2	9.1%
13 忍耐力	9	40.9%
14 社会人マナー	9	40.9%
15 コミュニケーション力	13	59.1%
16 切磋琢磨し合える力	2	9.1%
17 その他	0	0.0%

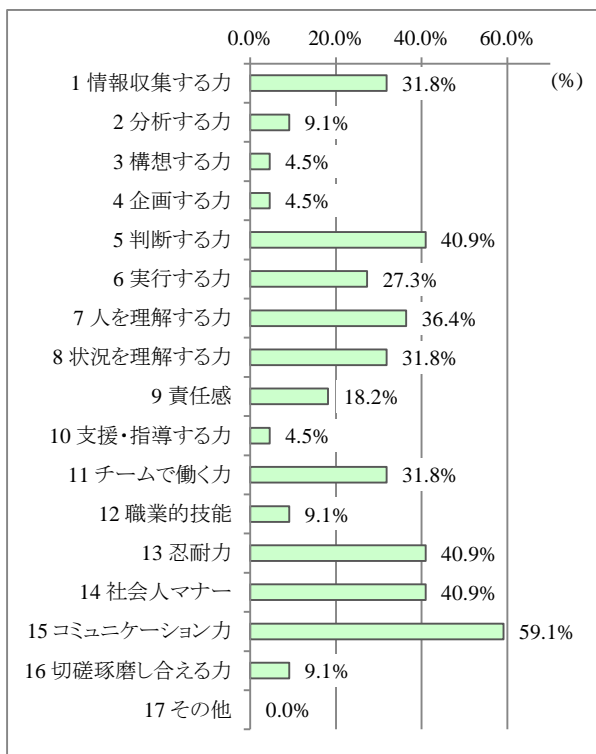


図6.1.4 社会生活の場で重要な力（医学部卒業生）

6.1.5 社会生活の場で重要な力（工学部卒業生）

工学部の卒業生（46名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表6.1.5 社会生活の場で重要な力（工学部卒業生）

	工学部卒業生 (46名中)	
	人	%
1 情報収集する力	6	13.0%
2 分析する力	8	17.4%
3 構想する力	8	17.4%
4 企画する力	5	10.9%
5 判断する力	12	26.1%
6 実行する力	16	34.8%
7 人を理解する力	8	17.4%
8 状況を理解する力	20	43.5%
9 責任感	13	28.3%
10 支援・指導する力	1	2.2%
11 チームで働く力	20	43.5%
12 職業的技能	9	19.6%
13 忍耐力	13	28.3%
14 社会人マナー	10	21.7%
15 コミュニケーション力	30	65.2%
16 切磋琢磨し合える力	1	2.2%
17 その他	0	0.0%

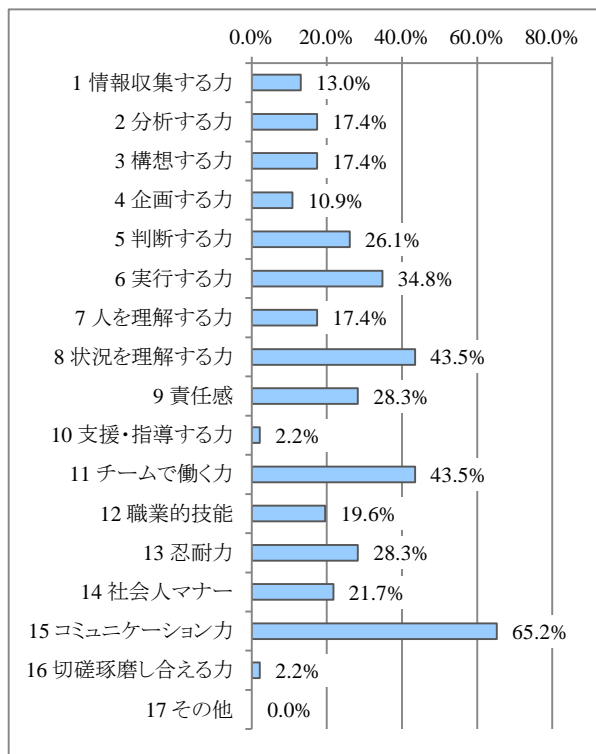


図6.1.5 社会生活の場で重要な力（工学部卒業生）

6.1.6 社会生活の場で重要な力（生物資源学部卒業生）

生物資源学部の卒業生（41名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

表6.1.6 社会生活の場で重要な力（生物資源学部卒業生）

	生物資源学部卒業生 (41名中)	
	人	%
1 情報収集する力	8	19.5%
2 分析する力	11	26.8%
3 構想する力	3	7.3%
4 企画する力	6	14.6%
5 判断する力	10	24.4%
6 実行する力	14	34.1%
7 人を理解する力	9	22.0%
8 状況を理解する力	16	39.0%
9 責任感	10	24.4%
10 支援・指導する力	4	9.8%
11 チームで働く力	15	36.6%
12 職業的技能	7	17.1%
13 忍耐力	7	17.1%
14 社会人マナー	10	24.4%
15 コミュニケーション力	27	65.9%
16 切磋琢磨し合える力	2	4.9%
17 その他	1	2.4%

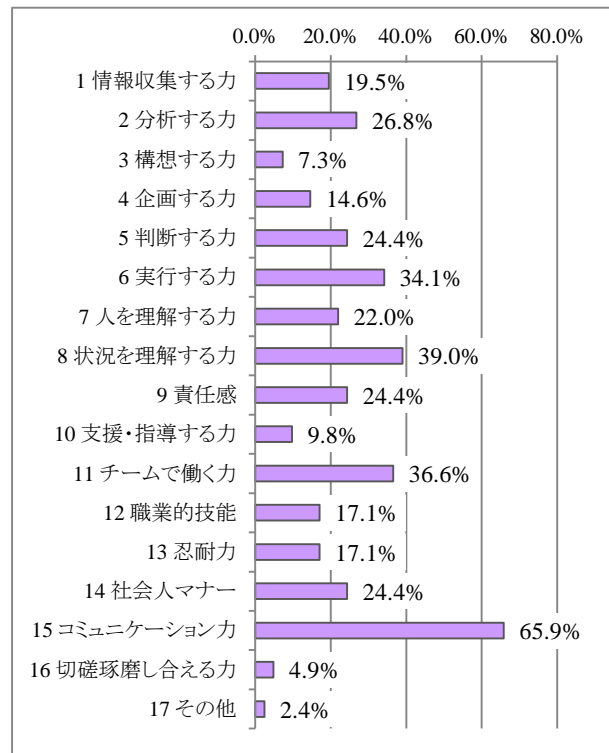


図6.1.6 社会生活の場で重要な力（生物資源学部卒業生）

6.2 社会生活の場で重要な力（修了生）

大学院修了後の社会生活の場で、特に重要だと思う力について修了生にたずねた。回答は、17個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた（選択肢は卒業生と共通）。全修了生（67名）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。修了生の回答数は少ないため、研究科別の結果は掲載しないこととした。

その結果、「6. 実行する力」と「15. コミュニケーション力」を選択した修了生が最も多かった。その他には、「2. 分析する力」や「8. 状況を理解する力」を選択する修了生が多かった。

表6.2 社会生活の場で重要な力（全修了生）

	全修了生 (67名中)	
	人	%
1 情報収集する力	14	20.9%
2 分析する力	25	37.3%
3 構想する力	12	17.9%
4 企画する力	7	10.4%
5 判断する力	21	31.3%
6 実行する力	28	41.8%
7 人を理解する力	17	25.4%
8 状況を理解する力	26	38.8%
9 責任感	13	19.4%
10 支援・指導する力	8	11.9%
11 チームで働く力	23	34.3%
12 職業的技能	7	10.4%
13 忍耐力	13	19.4%
14 社会人マナー	14	20.9%
15 コミュニケーション力	28	41.8%
16 切磋琢磨し合える力	2	3.0%
17 その他	4	6.0%

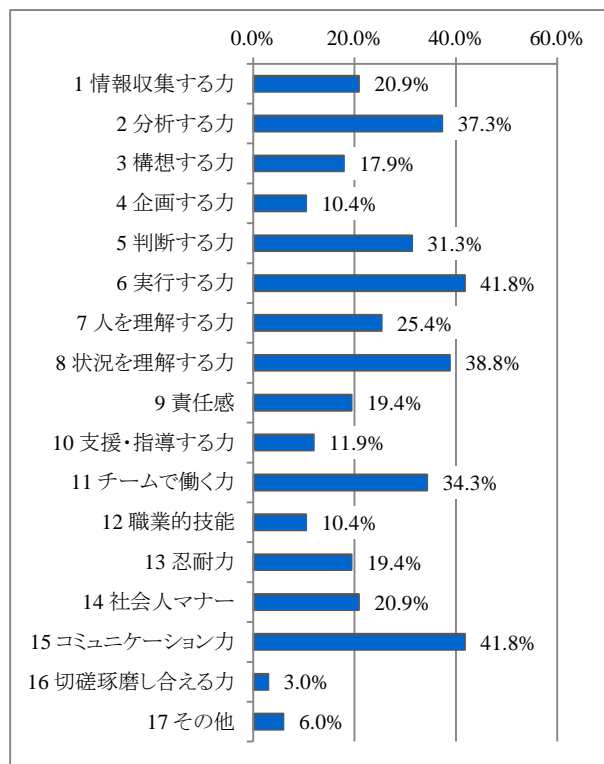


図6.2 社会生活の場で重要な力（全修了生）

第Ⅱ部
事業所

－ 目次 －

【第Ⅱ部 事業所】

第1章 調査の概要と分析対象者について	=====
1.1 調査の概要	・・・・・・・・40
1.2 卒業生/修了生の所属していた学部/研究科	・・・・・・・・41
第2章 三重大学卒業生と三重大学大学院修了生に対する事業所の評価	=====
2.1 卒業生に対する事業所の評価	・・・・・・・・42
2.2 修了生に対する事業所の評価	・・・・・・・・51
第3章 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ	=====
	・・・・・・・・53
第4章 新人研修や新人教育で重要視する力	=====
	・・・・・・・・54
資料	=====
各種アンケート用紙	・・・・・・・・56

第1章 調査の概要と分析対象者について

1.1 調査の概要

1.1.1 調査の目的

三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに相応しているかを「三重大学の卒業生（本アンケートでは、「卒業生」という）、もしくは三重大学大学院卒業生（本アンケートでは、「修了生」という）が就職した事業所」を対象に卒業生や修了生に対する評価、および教育ニーズ等を調査することにより、今後の三重大学の高等教育の改善・発展に資することを目的とした。

1.1.2 調査の設計

- (1) 調査対象 平成26年度本学卒業生と修了生が就職した事業所
- (2) 調査時期 平成28年2月頃
- (3) 調査方法

卒業生/修了生が就職した事業所宛てに、依頼文と卒業生/修了生リスト、調査用紙、返信用封筒を郵送した。卒業生/修了生リストには、その事業所に就職した卒業生/修了生の氏名と在学中に所属していた学部・学科が書かれた。同一事業所に複数名が就職している場合、就職した人数分の調査用紙を封入した。回答後、調査用紙を返信用封筒に入れ、本学に返送するよう依頼した。

- (4) 有効回答者数（率） 右表参照。

表1.1.2 発送と回収について

	（卒業生 事業所 就職先）		（修了生 事業所 就職先）	
	事業所数	アンケート数	事業所数	アンケート数
発送数	632	913	279	339
回収数	369	385	129	131
回収率(%)	58.4%	42.2%	46.2%	38.6%

※同一事業所に卒業生(修了生)が複数就職した場合、人数分のアンケート用紙を封入した。

1.1.3 調査の内容

調査した項目内容を以下に示す。なお、実施した調査用紙は、資料を参照のこと。

表1.1.3 調査内容(卒業生・修了生の就職した事業所対象)

	項目数	項目内容	結果の章
基本事項	3項目	卒業生/修了生が在学時に所属していた学部/研究科、学科/専攻、性別	第1章
三重大学卒業生/三重大学大学院修了生に対する事業所の評価	28項目	卒業生/修了生の力がどの程度身についているかをたずねた。	第2章
	4段階評定(加えて、評価できないという選択肢を設けた)	身につけていると感じる程度を表す「身につけていない」から「十分身につけている」の4段階の中からあてはまるものをひとつ選択。評価できない項目については、「評価できない」を選択。	
三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ	13個の選択肢の中から4つ選択	本学の教育に期待するものについてたずねた。	第3章
新人研修や新人教育で重要視する力	17個の選択肢の中から4つ選択	事業所が新人研修や新人教育で重要視している力についてたずねた。	第4章
意見と感想	自由記述	三重大学/大学院の教育や卒業生/修了生についての意見と感想をたずねた。	—

1.2 卒業生/修了生の所属していた学部/研究科

事業所が回答の対象とした卒業生が在学中に所属していた学部、もしくは修了生が所属していた研究科ごとに回答件数を集計した。

卒業学部の区分は、卒業学部ごとの特徴を明らかにするため、「第2章 三重大学卒業生と三重大学大学院修了生に対する事業所の評価」の集計・分析にて用いた。修了研究科の区分は、回答数が少ない研究科があるため研究科別の集計・分析は行わないこととした。

表1.2.1 卒業生(評価対象者)が所属していた学部

人 文 学 部	教 育 学 部	医 学 部	工 学 部	生 物 資 源 学 部	不 明	合 計
94	85	75	55	73	3	385

表1.2.2 修了生(評価対象者)が所属していた研究科

研 究 科 人 文 社 会 科 学	教 育 学 研 究 科	医 学 系 研 究 科	工 学 研 究 科	生 物 資 源 学 研 究 科	シ ン ド ク イ ノ ベ ー ション 学 研 究 科	合 計
3	16	15	63	29	5	131

第2章 三重大学卒業生と三重大学大学院修了生に対する事業所の評価

2.1 卒業生に対する事業所の評価

事業所に就職した卒業生に力が身についている程度を、「身についていない」から「十分身についている」の4段階で回答を求めた（28項目。第I部 卒業生と修了生「第5章 三重大学/三重大学大学院の教育・研究で身についたこと」の項目と共通）。4段階の他に「評価できない」という選択肢を設けた。全卒業生と卒業学部ごとの平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を示す。平均値と標準偏差は、身についていると感じる度合いを表す4段階評定において「身についていない」1点、「あまり身についていない」2点、「ある程度身についている」3点、「十分身についている」4点として算出した。充足群は、4段階のうち「ある程度身についている」、「十分身についている」のいずれかに回答した事業所の割合である。

2.1.1 事業所の評価（全卒業生）

本学卒業生に対する事業所の回答（385件）について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を算出した。（グラフは p49）

表2.1.1 事業所の評価(全卒業生)

項目	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価できない (385件中)
1 広い視野で多面的に考える力	3.01	0.59	83.4	9
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.16	0.53	92.6	16
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	3.12	0.64	84.6	10
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.92	0.67	76.1	14
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.90	0.69	73.0	39
6 事実や他者に対する誠実さ	3.57	0.58	96.8	4
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.29	0.62	91.9	11
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.21	0.72	84.3	7
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.36	0.67	90.6	2
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.47	0.91	49.7	203
11 プレゼンテーションをする力	2.93	0.69	74.9	71
12 ディスカッションをする力	2.93	0.66	77.0	35
13 人と協同して仕事をする力	3.37	0.63	93.1	6
14 文章作成や文章表現の力	3.13	0.62	86.5	12
15 情報を収集して適切に処理する力	3.12	0.56	89.6	18
16 情報機器を活用する力	3.25	0.62	91.1	23
17 社会、または技術の変化に対応する力	3.06	0.57	86.9	50
18 人間や社会についての理解・知識	3.11	0.56	89.2	30
19 自然科学に関する基礎知識	3.13	0.58	89.5	95
20 一般常識	3.25	0.59	92.9	4
21 基礎学力	3.46	0.52	99.2	17
22 専門知識や技術	3.05	0.64	84.8	51
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.23	0.61	92.1	15
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.30	0.62	92.0	6
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.23	0.62	91.1	25
26 意欲的に物事に取り組む力	3.31	0.67	89.2	2
27 自立的に自らが決断する力	2.97	0.69	75.4	24
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.20	0.60	90.6	10

その結果、「6. 事実や他者に対する誠実さ」は、平均値が 3.5 点（4 段階評定で「ある程度身についている」～「十分身についている」の間にあたる）以上と非常に高く、95%以上の事業所が卒業生に身につけていると感じていることが示された。次いで平均値が高かったのは、「21. 基礎学力」であり、充足群は 99.2%とほとんど全ての事業所の評価が高かった。その他にも平均値が 3 点以上の項目、充足率が 90%以上の項目が多く見られた。

一方、最も評価が低かったのは、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」であった。しかし、この項目に対して「評価できない」と回答した事業所は 385 件中 203 件と最も多く、回答のあった事業所の半数以上であった。

2.1.2 事業所の評価（人文学部卒業生）

本学卒業生のうち、人文学部卒業生に対する事業所の回答（94 件）について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を算出した。（グラフは p49）

表2.1.2 事業所の評価(人文学部卒業生)

項目	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価できない (94件中)
1 広い視野で多面的に考える力	2.96	0.51	84.6	2
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.11	0.53	91.2	2
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	3.20	0.58	91.2	3
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.89	0.65	77.3	4
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.86	0.80	70.9	13
6 事実や他者に対する誠実さ	3.49	0.58	95.7	2
7 人によっていろんな意見を持っているという多様性を理解する力	3.20	0.60	90.1	3
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.14	0.70	81.5	2
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.41	0.66	90.3	1
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.21	1.03	38.5	50
11 プレゼンテーションをする力	2.85	0.62	71.8	21
12 ディスカッションをする力	2.89	0.64	73.8	13
13 人と協同して仕事をする力	3.28	0.58	93.5	2
14 文章作成や文章表現の力	3.14	0.60	88.0	2
15 情報を収集して適切に処理する力	3.09	0.55	88.9	4
16 情報機器を活用する力	3.26	0.59	94.4	4
17 社会、または技術の変化に対応する力	3.08	0.59	88.8	12
18 人間や社会についての理解・知識	3.14	0.57	89.7	7
19 自然科学に関する基礎知識	2.86	0.60	78.0	34
20 一般常識	3.19	0.65	89.2	1
21 基礎学力	3.37	0.51	98.9	5
22 専門知識や技術	2.86	0.64	75.0	27
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.19	0.60	89.9	4
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.29	0.60	92.4	1
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.16	0.58	89.9	5
26 意欲的に物事に取り組む力	3.28	0.63	90.3	1
27 自立的に自らが決断する力	2.93	0.72	70.9	7
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.21	0.63	88.9	3

2.1.3 事業所の評価（教育学部卒業生）

本学卒業生のうち、教育学部卒業生に対する事業所の回答（85件）について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を算出した。（グラフは p50）

表2.1.3 事業所の評価(教育学部卒業生)

項目	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価 できない (85件中)
1 広い視野で多面的に考える力	2.87	0.54	80.5	2
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.04	0.44	92.3	4
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.96	0.60	80.2	1
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.79	0.49	75.6	3
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.80	0.58	71.6	2
6 事実や他者に対する誠実さ	3.46	0.57	96.3	0
7 人によっていろんな意見を持っているという多様性を理解する力	3.21	0.61	92.6	2
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.07	0.72	80.2	2
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.21	0.68	88.1	0
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.59	0.58	54.3	37
11 プレゼンテーションをする力	2.76	0.55	70.0	13
12 ディスカッションをする力	2.75	0.59	67.5	6
13 人と協同して仕事をする力	3.28	0.67	90.4	1
14 文章作成や文章表現の力	3.04	0.48	90.5	0
15 情報を収集して適切に処理する力	2.98	0.44	89.0	2
16 情報機器を活用する力	3.13	0.49	93.8	3
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.93	0.43	87.0	14
18 人間や社会についての理解・知識	2.89	0.39	86.5	8
19 自然科学に関する基礎知識	3.00	0.39	92.4	17
20 一般常識	3.14	0.52	92.9	0
21 基礎学力	3.39	0.52	98.8	1
22 専門知識や技術	3.01	0.48	89.0	1
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.14	0.55	91.3	4
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.20	0.55	92.9	0
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.09	0.59	89.6	7
26 意欲的に物事に取り組む力	3.23	0.65	88.1	0
27 自立的に自らが決断する力	2.83	0.59	73.1	6
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.01	0.53	86.9	0

2.1.4 事業所の評価（医学部卒業生）

本学卒業生のうち、医学部卒業生に対する事業所の回答（75件）について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を算出した。（グラフは p50）

表2.1.4 事業所の評価(医学部卒業生)

項目	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価 できない (75件中)
1 広い視野で多面的に考える力	3.30	0.61	91.9	1
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.38	0.57	95.9	2
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	3.32	0.66	89.0	2
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	3.23	0.75	83.6	2
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	3.19	0.72	81.9	3
6 事実や他者に対する誠実さ	3.71	0.49	98.7	0
7 人によっていろんな意見を持っているという多様性を理解する力	3.50	0.60	94.6	1
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.52	0.58	96.0	0
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.51	0.67	93.3	0
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.81	0.91	64.6	27
11 プレゼンテーションをする力	3.31	0.73	87.3	4
12 ディスカッションをする力	3.21	0.69	87.7	2
13 人と協同して仕事をする力	3.52	0.55	97.3	0
14 文章作成や文章表現の力	3.33	0.67	89.0	2
15 情報を収集して適切に処理する力	3.36	0.59	94.6	1
16 情報機器を活用する力	3.43	0.63	92.8	6
17 社会、または技術の変化に対応する力	3.28	0.62	91.3	6
18 人間や社会についての理解・知識	3.37	0.51	98.7	0
19 自然科学に関する基礎知識	3.43	0.53	98.5	8
20 一般常識	3.44	0.62	93.3	0
21 基礎学力	3.57	0.50	100.0	1
22 専門知識や技術	3.36	0.61	93.3	0
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.47	0.55	97.3	1
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.41	0.55	97.3	0
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.44	0.55	97.3	0
26 意欲的に物事に取り組む力	3.44	0.62	93.3	0
27 自立的に自らが決断する力	3.27	0.68	86.7	0
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.39	0.59	94.7	0

2.1.5 事業所の評価（工学部卒業生）

本学卒業生のうち、工学部卒業生に対する事業所の回答（55件）について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を算出した。（グラフは p51）

表2.1.5 事業所の評価(工学部卒業生)

項目	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価 できない (55件中)
1 広い視野で多面的に考える力	2.89	0.54	79.6	0
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.10	0.50	92.3	2
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.98	0.69	75.9	0
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.83	0.67	72.2	0
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.72	0.58	65.2	8
6 事実や他者に対する誠実さ	3.48	0.67	94.4	0
7 人によっていろんな意見を持っているという多様性を理解する力	3.19	0.60	94.2	2
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.04	0.78	79.6	0
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.31	0.75	87.0	0
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.24	0.94	38.1	32
11 プレゼンテーションをする力	2.73	0.67	70.7	11
12 ディスカッションをする力	2.77	0.73	72.3	5
13 人と協同して仕事をする力	3.20	0.68	88.9	0
14 文章作成や文章表現の力	2.85	0.63	71.7	1
15 情報を収集して適切に処理する力	3.04	0.57	86.0	4
16 情報機器を活用する力	3.19	0.69	84.6	2
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.92	0.57	79.6	5
18 人間や社会についての理解・知識	2.90	0.55	79.6	5
19 自然科学に関する基礎知識	2.98	0.58	82.5	14
20 一般常識	3.15	0.60	92.5	1
21 基礎学力	3.46	0.54	98.1	2
22 専門知識や技術	2.98	0.68	85.1	7
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.15	0.63	90.7	0
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.21	0.67	86.5	2
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.22	0.67	90.2	3
26 意欲的に物事に取り組む力	3.17	0.77	81.5	0
27 自立的に自らが決断する力	2.82	0.72	72.0	4
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.20	0.53	94.0	4

2.1.6 事業所の評価（生物資源学部卒業生）

本学卒業生のうち、生物資源学部卒業生に対する事業所の回答（73件）について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を算出した。（グラフは p51）

表2.1.6 事業所の評価(生物資源学部卒業生)

項目	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価 できない (73件中)
1 広い視野で多面的に考える力	3.00	0.65	78.9	2
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.16	0.56	91.2	5
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	3.09	0.65	82.9	3
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.84	0.68	71.0	4
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.85	0.62	72.6	11
6 事実や他者に対する誠実さ	3.71	0.54	98.6	1
7 人によっていろんな意見を持っているという多様性を理解する力	3.37	0.66	90.0	3
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.26	0.76	84.3	3
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.39	0.59	94.4	1
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.11	0.94	36.8	54
11 プレゼンテーションをする力	2.87	0.71	71.7	20
12 ディスカッションをする力	3.00	0.56	84.4	8
13 人と協同して仕事をする力	3.56	0.63	95.7	3
14 文章作成や文章表現の力	3.21	0.64	88.1	6
15 情報を収集して適切に処理する力	3.13	0.60	88.1	6
16 情報機器を活用する力	3.26	0.69	86.4	7
17 社会、または技術の変化に対応する力	3.03	0.59	84.7	12
18 人間や社会についての理解・知識	3.21	0.63	88.9	10
19 自然科学に関する基礎知識	3.30	0.61	92.5	20
20 一般常識	3.31	0.52	97.2	1
21 基礎学力	3.55	0.50	100.0	7
22 専門知識や技術	2.97	0.72	79.3	15
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.21	0.62	92.5	6
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.37	0.68	91.4	3
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.25	0.69	88.9	10
26 意欲的に物事に取り組む力	3.47	0.63	93.1	1
27 自立的に自らが決断する力	2.95	0.69	74.2	7
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.21	0.63	91.4	3

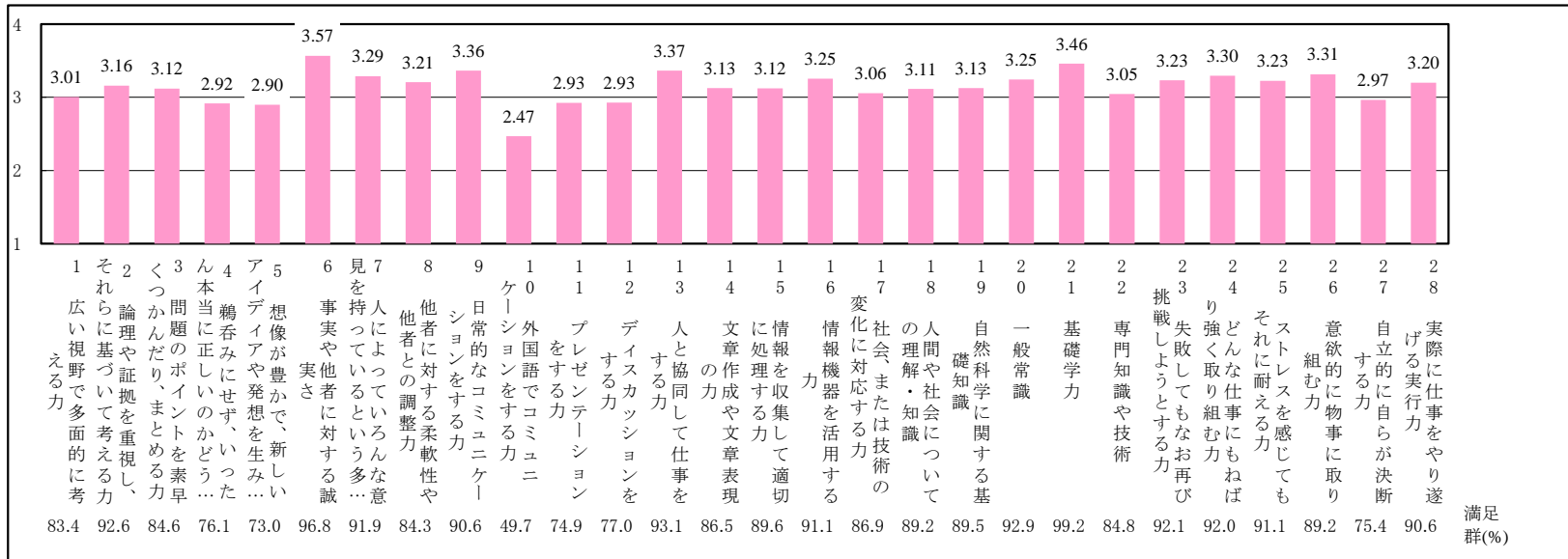


図2.1.1 事業所の評価(全卒業生)

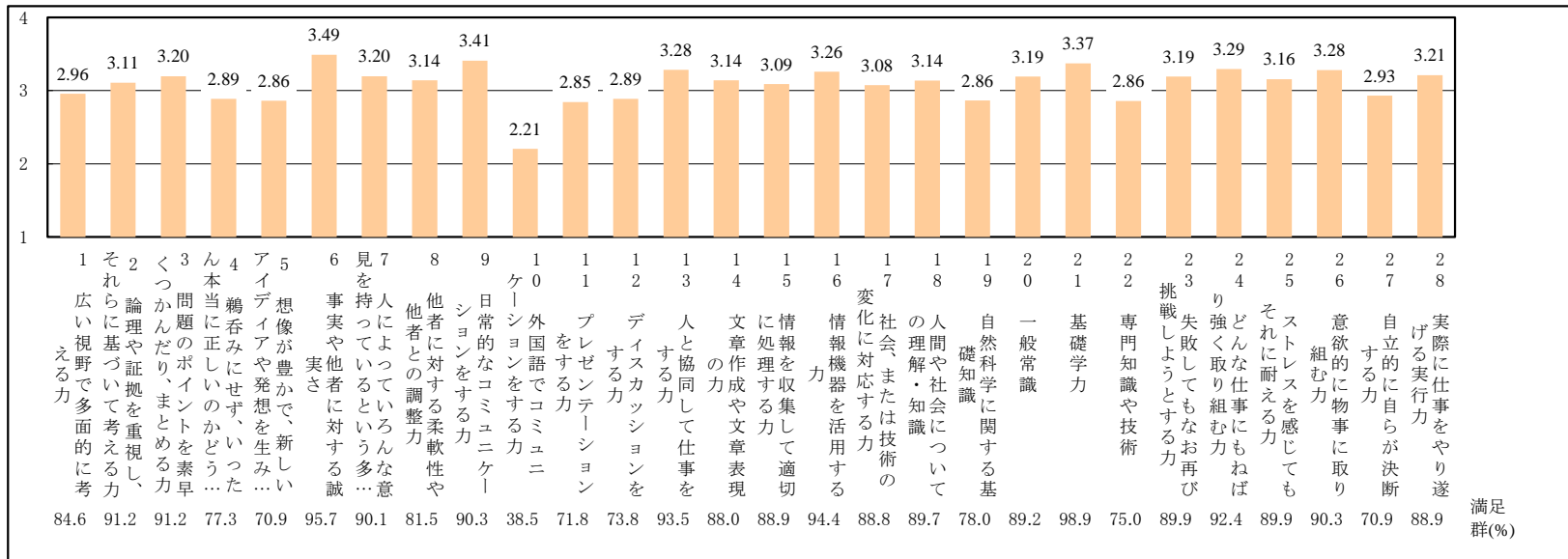


図2.1.2 事業所の評価(人文学部卒業生)

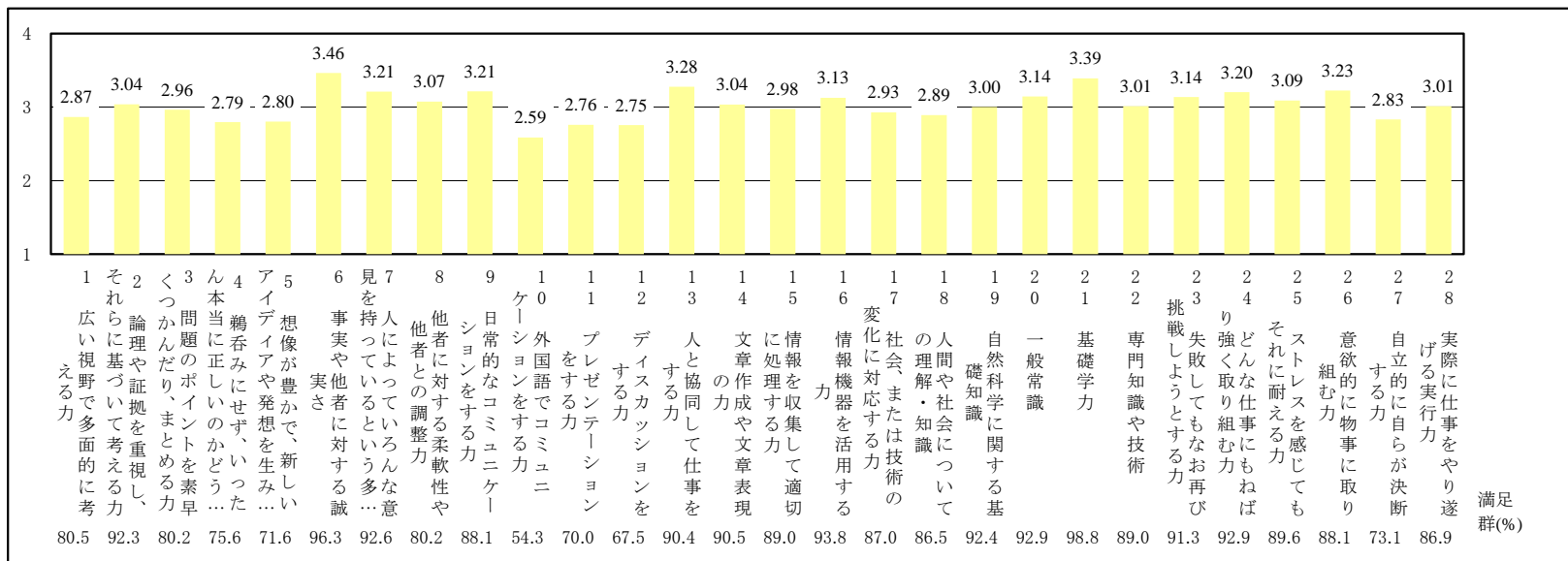


図2.1.3 事業所の評価(教育学部卒業生)

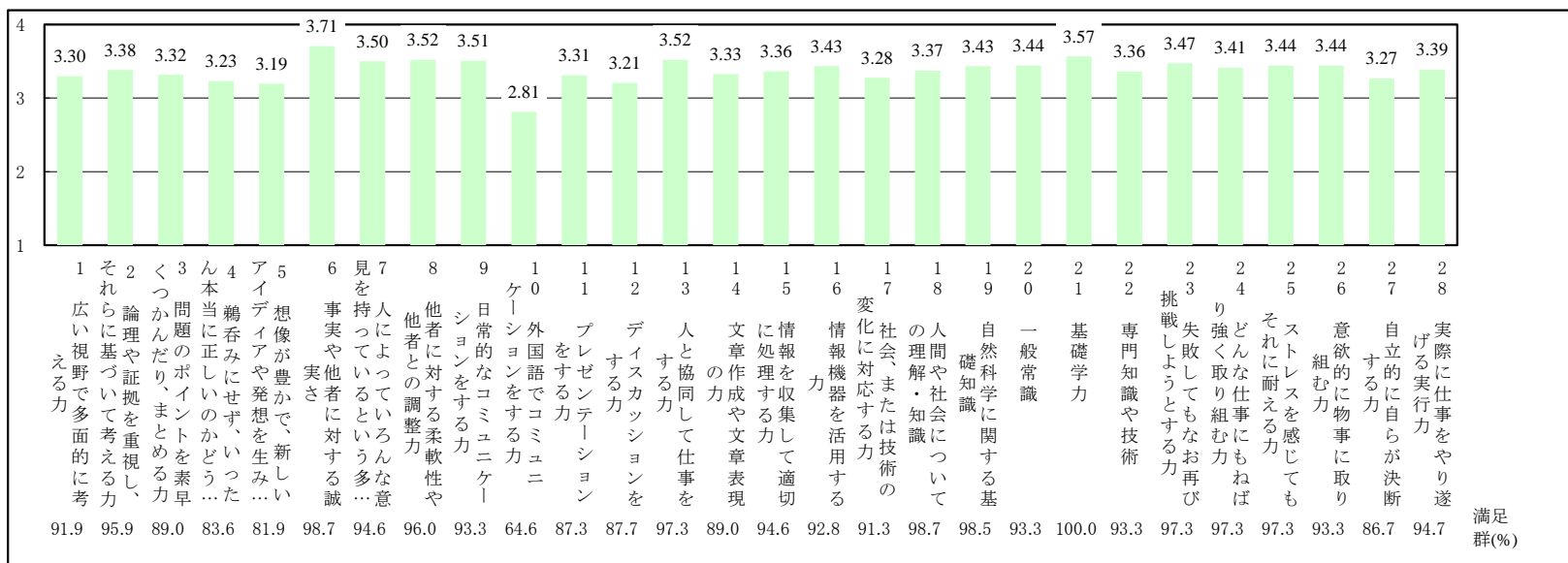


図2.1.4 事業所の評価(医学部卒業生)

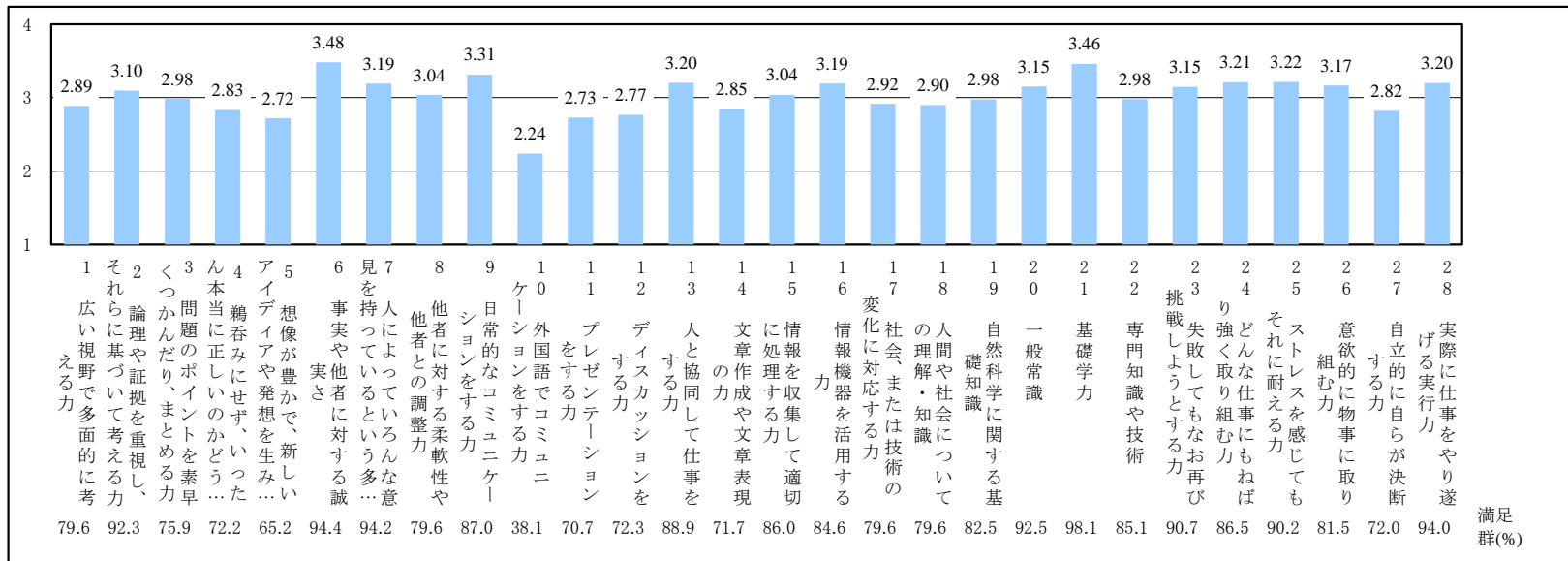


図2.1.5 事業所の評価(工学部卒業生)

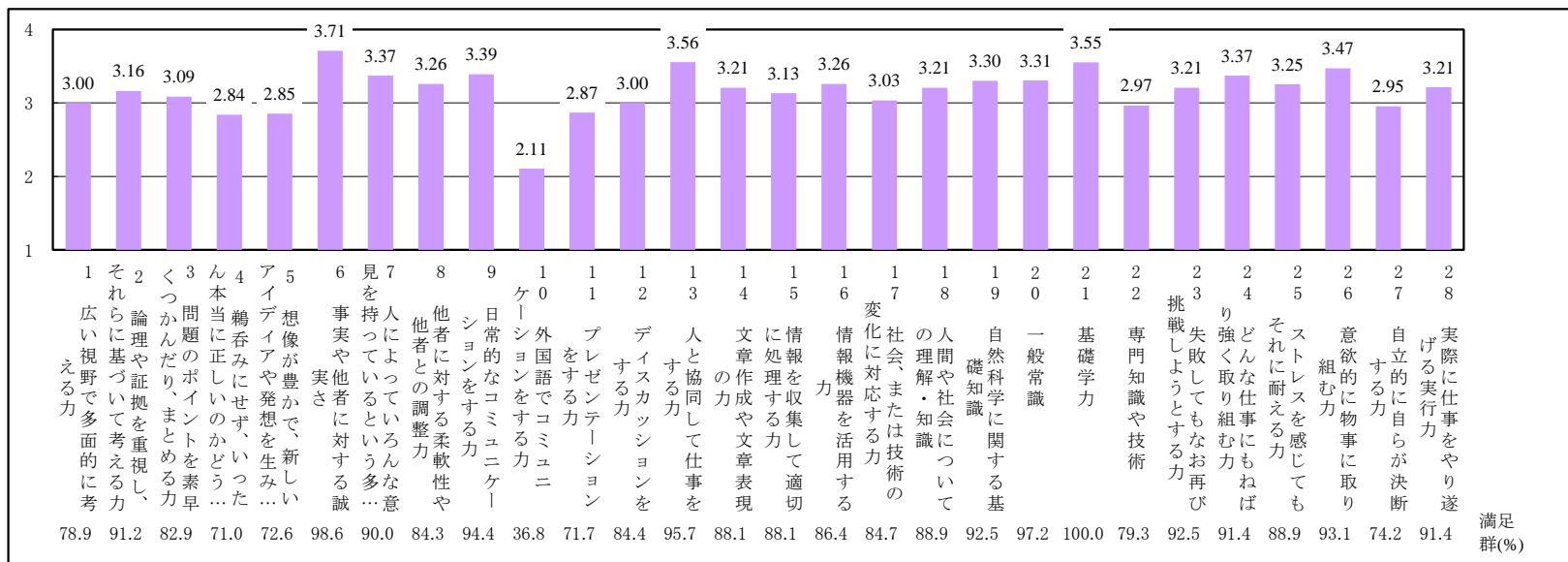


図2.1.6 事業所の評価(生物資源学部卒業生)

2.2 修了生に対する事業所の評価

事業所に就職した修了生に力が身につけている程度を、「身につけていない」から「十分身につけている」の4段階で回答を求めた(28項目。第I部 卒業生と修了生「第5章 三重大学/三重大学大学院の教育・研究で身につけたこと」の項目と共通)。4段階の他に「評価できない」という選択肢も設けた。修了生に対する事業所の回答(131件)について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を示す。

その結果、「6. 事実や他者に対する誠実さ」や「21. 基礎学力」は、平均値が3.5点(4段階評定で「ある程度身につけている」～「十分身につけている」の間にあたる)、95%以上の事業所が修了生に身につけていると感じていることが示された。特に、「21. 基礎学力」の充足群は99.2%とほとんど全ての事業所の評価が高かった。その他にも平均値が3点以上の項目、充足率が90%以上の項目が多く見られた。

一方、最も評価が低かったのは、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」であった。しかし、この項目に対して「評価できない」と回答した事業所は131件中61件と最も多く、回答のあった事業所の約半数であった。

表2.2 事業所の評価(全修了生)

項目	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価できない (131件中)
1 広い視野で多面的に考える力	3.03	0.62	84.0	6
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.20	0.64	89.1	2
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	3.09	0.65	84.4	2
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.91	0.66	76.6	3
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.81	0.71	69.2	14
6 事実や他者に対する誠実さ	3.56	0.57	97.7	0
7 人によって異なるような意見を持っているという多様性を理解する力	3.20	0.63	89.8	3
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.16	0.68	85.6	5
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.36	0.72	88.5	0
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.43	0.98	43.5	61
11 プレゼンテーションをする力	2.99	0.68	80.2	20
12 ディスカッションをする力	2.92	0.68	76.1	13
13 人と協同して仕事をする力	3.32	0.64	92.4	0
14 文章作成や文章表現の力	2.97	0.67	79.4	5
15 情報を収集して適切に処理する力	3.10	0.60	88.0	6
16 情報機器を活用する力	3.30	0.58	96.8	6
17 社会、または技術の変化に対応する力	3.06	0.64	86.5	27
18 人間や社会についての理解・知識	3.13	0.56	90.1	20
19 自然科学に関する基礎知識	3.24	0.53	95.1	29
20 一般常識	3.34	0.59	96.9	1
21 基礎学力	3.55	0.52	99.2	3
22 専門知識や技術	3.22	0.66	88.9	14
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.23	0.59	91.6	12
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.23	0.65	89.1	3
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.21	0.69	87.9	15
26 意欲的に物事に取り組む力	3.30	0.66	90.7	2
27 自立的に自らが決断する力	2.92	0.71	75.4	13
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.19	0.62	92.0	6

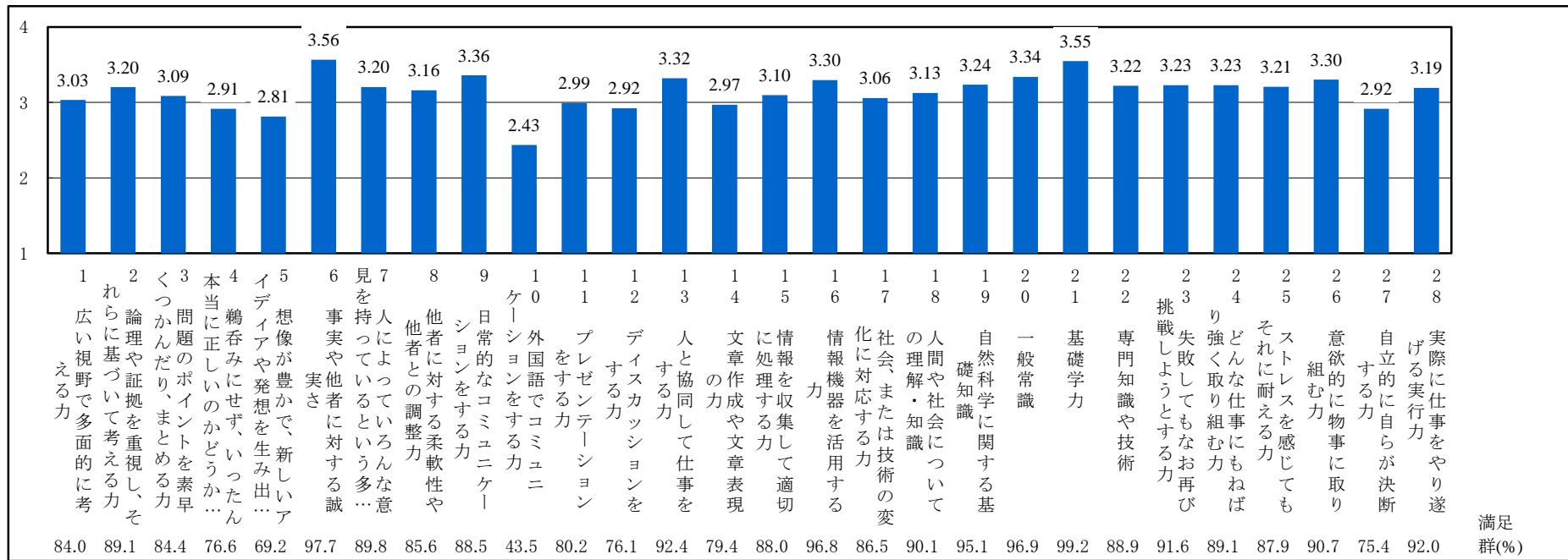


図2.2 事業所の評価(全修了生)

第3章 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

事業所に対して、三重大学/三重大学大学院の教育に期待する力をたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた（選択肢は、第I部 卒業生と修了生の「第3章 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ」と共通）。全事業所の回答（516件 卒業生と修了生の就職先合計）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

その結果、「1. 広い視野で多面的に考える力」や「4. 人と共同して仕事をする力」について、60%以上の事業所が選択した。その他にも、「2. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力」、「10. どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「12. 実際に仕事をやり遂げる実行力」などを選択した事業所が多かった。

表3 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

	アンケート 516件中	
	件数	%
1 広い視野で多面的に考える力	331	64.1%
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	208	40.3%
3 外国語でコミュニケーションをする力	56	10.9%
4 人と共同して仕事をする力	320	62.0%
5 文章作成や文章表現の力	41	7.9%
6 情報を収集して適切に処理する力	122	23.6%
7 一般常識	101	19.6%
8 基礎学力	56	10.9%
9 専門知識や技術	151	29.3%
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	255	49.4%
11 自立的に自らが決断する力	133	25.8%
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	275	53.3%
13 その他	8	1.6%

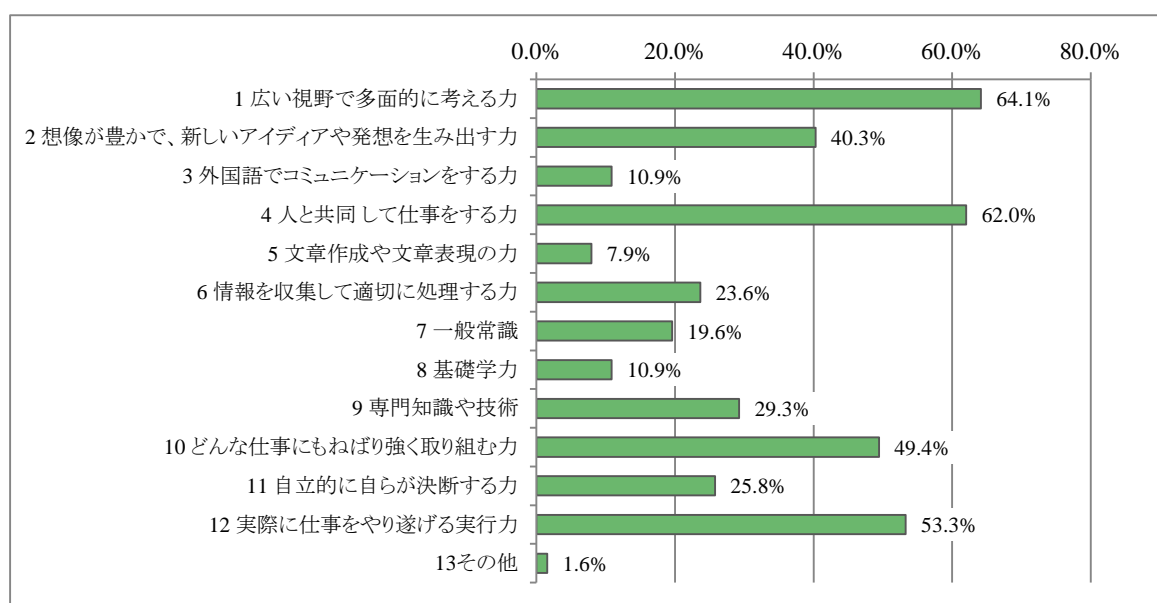


図3 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

第4章 事業所が新人研修や新人教育で重要視する力

事業所に対して、新人研修や新人教育を行う際に重要視している力をたずねた。回答は、17個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた（選択肢は、第I部 卒業生と修了生「第6章 社会生活の場で重要な力について」と共通）。全事業所の回答（516件 卒業生と修了生の就職先合計）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

その結果、「11. チームで働く力」と「15. コミュニケーション力」について、60%以上の事業所が選択した。

表4 新人研修や新人教育で重要視している力

	アンケート 516件中	
	件数	%
1 情報収集する力	71	13.8%
2 分析する力	86	16.7%
3 構想する力	60	11.6%
4 企画する力	62	12.0%
5 判断する力	84	16.3%
6 実行する力	183	35.5%
7 人を理解する力	155	30.0%
8 状況を理解する力	125	24.2%
9 責任感	199	38.6%
10 支援・指導する力	47	9.1%
11 チームで働く力	319	61.8%
12 職能	56	10.9%
13 忍耐力	50	9.7%
14 社会人マナー	183	35.5%
15 コミュニケーション力	312	60.5%
16 切磋琢磨し合える力	54	10.5%
17 その他	8	1.6%

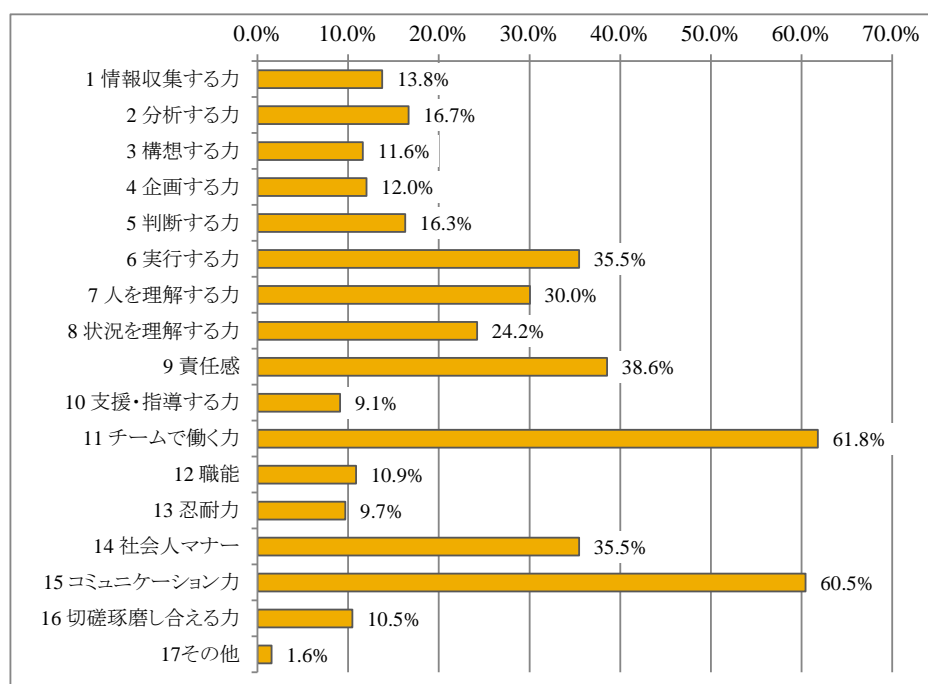


図4 新人研修や新人教育で重要視している力

— 資料 —

アンケート用紙

(卒業生対象)

(修了生対象)

(事業所対象－卒業生就職先)

(事業所対象－修了生就職先)

三重大学における大学教育についてのアンケート 卒業生用

I. 以下について記入、もしくはあてはまるものに○をしてください。

- 1. 在学中の所属 () 学部 () 学科・課程
- 2. 入試形態 [前期 ・ 後期 ・ 推薦 ・ AO ・ 編入]
- 3. 性別 [男 ・ 女]
- 4. 現在の職種 [公務員 ・ 一般企業 ・ 団体職員 ・ 大学院在学中
医療関係 ・ アルバイト ・ 無職 ・ その他 ()]
- 5. 現在の居住地 [三重県 ・ 三重県外]



三重県と回答した人は5つの地区からあてはまる数字を1つ選び、○をつけてください。

- ①北勢地区 (主に桑名、四日市、鈴鹿、亀山など)
- ②伊賀地区 (伊賀、名張)
- ③中勢地区 (主に津、松阪など)
- ④南勢地区 (主に伊勢、鳥羽、志摩など)
- ⑤東紀州地区 (主に尾鷲・紀北・熊野など)

II. 三重大学の教育に対する満足度

あなたが受けた三重大学の教育に関してどのくらい満足していますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	非常 に不 満	不 満	やや 不 満	やや 満 足	満 足	非常 に満 足
1. 教育全般	1	2	3	4	5	6
2. 研究環境 (文献、機器・研修水準など)	1	2	3	4	5	6
3. 進路支援 (就職や進学、資格取得など)	1	2	3	4	5	6
4. 学習環境 (図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	1	2	3	4	5	6
5. 学生生活に対するサポート	1	2	3	4	5	6
6. 共通教育の授業全般	1	2	3	4	5	6
7. 共通教育の語学系授業	1	2	3	4	5	6
8. 共通教育の情報系授業	1	2	3	4	5	6
9. 共通教育のキャリア系授業	1	2	3	4	5	6
10. 共通教育の保健体育関連授業	1	2	3	4	5	6
11. 幅広い教養を身につけられる教育の提供	1	2	3	4	5	6
12. 学部専門の授業	1	2	3	4	5	6
13. PBLなどの少人数課題探求型の授業	1	2	3	4	5	6
14. 現場体験実習やインターンシップなど	1	2	3	4	5	6
※ 以下は、経験した人のみお答えください。						
15. 理系基礎関係授業	1	2	3	4	5	6
16. 卒業研究指導	1	2	3	4	5	6

Ⅲ. 役立ったと思う大学の授業

(1) 在学中に受講した授業のうち、大学を卒業してから自分に役立ったと思う授業※があればお書きください。覚えている授業名があれば記入してください。

※現在の仕事や学習、研究、生活などに役立ったと思う授業

--

(2) その授業のどのような点が役立ったと思いますか。

--

Ⅳ. 三重大大学の教育に対するニーズ

三重大大学ではどのような ^{ちから}力の伸長に重点を置いて教育すべきだ

--	--	--	--

と思うか、以下の13項目の中から4つ選び、枠内にお書きください。

1. 広い視野で多面的に考える力
2. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力
3. 外国語でコミュニケーションをする力
4. 人と共同して仕事をする力
5. 文章作成や文章表現の力
6. 情報を収集して適切に処理する力
7. 一般常識
8. 基礎学力
9. 専門知識や技術
10. どんな仕事にもねばり強く取り組む
11. 自立的に自らが決断する力
12. 実際に仕事をやり遂げる実行力
13. その他 ()

Ⅴ. 大学生活で重点を置いたこと

あなたが大学生活で、特に重点を置いていたものについて、以下の21項目の中から2つ選び、枠内にお書きください。

--	--

1. 共通教育の授業
2. 学部専門の授業
3. 語学系の授業
4. 情報の授業
5. PBLに関連する授業
6. 卒業研究
7. (研究室での)共同研究
8. ゼミ
9. 実習
10. ボランティア
11. 学部専攻を生かしたボランティア
12. 留学
13. クラブ・サークル
14. アルバイト
15. 学生自治活動
16. インターンシップ
17. 就職活動
18. 採用資格準備
19. 専門学校
20. レジャー
21. その他 ()

VI. 三重大大学の教育で身についたこと

あなたは、三重大大学において以下の項目が示す ^{ちから}力がどのくらい身についたと思いますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	身につかなかった	あまり身につかなかった	ある程度身についた	十分に身についた
1. 広い視野で多面的に考える力	1	2	3	4
2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	1	2	3	4
3. 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	1	2	3	4
4. 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	1	2	3	4
5. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	1	2	3	4
6. 事実や他者に対する誠実さ	1	2	3	4
7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	1	2	3	4
8. 他者に対する柔軟性や他者との調整力	1	2	3	4
9. 日常的なコミュニケーションをする力	1	2	3	4
10. 外国語でコミュニケーションをする力	1	2	3	4
11. プレゼンテーションをする力	1	2	3	4
12. ディスカッションをする力	1	2	3	4
13. 人と協同して仕事をする力	1	2	3	4
14. 文章作成や文章表現の力	1	2	3	4
15. 情報を収集して適切に処理する力	1	2	3	4
16. 情報機器を活用する力	1	2	3	4
17. 社会、または技術の変化に対応する力	1	2	3	4
18. 人間や社会についての理解・知識	1	2	3	4
19. 自然科学に関する基礎知識	1	2	3	4
20. 一般常識	1	2	3	4
21. 基礎学力	1	2	3	4
22. 専門知識や技術	1	2	3	4
23. 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	1	2	3	4
24. どんな仕事にもねばり強く取り組む力	1	2	3	4
25. ストレスを感じてもそれに耐える力	1	2	3	4
26. 意欲的に物事に取り組む力	1	2	3	4
27. 自立的に自らが決断する力	1	2	3	4
28. 実際に仕事をやり遂げる実行力	1	2	3	4

Ⅶ. 社会生活の場で重要な^{ちから}力について

--	--	--	--

大学卒業後の社会生活の場で、あなたが特に重要だと思う^{ちから}力を以下の17項目の中から4つ
選び、枠内にお書きください。

- | | | |
|---------------|-------------|----------------|
| 1. 情報収集する力 | 2. 分析する力 | 3. 構想する力 |
| 4. 企画する力 | 5. 判断する力 | 6. 実行する力 |
| 7. 人を理解する力 | 8. 状況を理解する力 | 9. 責任感 |
| 10. 支援・指導する力 | 11. チームで働く力 | 12. 職業的スキル |
| 13. 忍耐力 | 14. 社会人マナー | 15. コミュニケーション力 |
| 16. 切磋琢磨し合える力 | 17. その他 () | |

Ⅷ. 三重大大学の教育に関してご意見やご感想がございましたら、下の枠内にお書きください。
今後の教育改善に役立てたいと考えております。

--

Ⅸ. 卒業されてから約1年が経過しますが、この1年を振り返って三重大大学に在学中の学生に、
アドバイスやメッセージがありましたら教えてください。

--

※ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて投函していただきますようよろしくお願いいたします。

三重大学大学院における大学院教育についてのアンケート

修了生用

I. 以下について記入、もしくはあてはまるものに○をしてください。

- 1. 在学中の所属 () 研究科 () 専攻
- 2 入試形態 (前期 ・ 後期 ・ 推薦 ・ AO ・ 編入)
- 3. 性別 (男 ・ 女)
- 4. 現在の職種 [公務員 ・ 一般企業 ・ 団体職員 ・ 大学院在学中
医療関係 ・ アルバイト ・ 無職 ・ その他 ()]
- 5. 現在の居住地 [三重県 ・ 三重県外]

三重県と回答した人は5つの地区からあてはまる数字を1つ選び、○をつけてください。

- ①北勢地区 (主に桑名、四日市、鈴鹿、亀山など)
- ②伊賀地区 (伊賀、名張)
- ③中勢地区 (主に津、松阪など)
- ④南勢地区 (主に伊勢、鳥羽、志摩など)
- ⑤東紀州地区 (主に尾鷲・紀北・熊野など)

※三重大学に関する設問について、学部から三重大学に在籍していた人は、学部での経験は含めず大学院での経験についてお答えください。

II. 三重大学大学院の教育に対する満足度

あなたが受けた三重大学大学院の教育に関してどのくらい満足していますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	非常に不満	不満	やや不満	やや満足	満足	非常に満足
1. 教育全般	1	2	3	4	5	6
2. 研究環境 (文献、機器・研修水準など)	1	2	3	4	5	6
3. 大学院の授業科目構成	1	2	3	4	5	6
4. 大学院の授業	1	2	3	4	5	6
5. PBLなどの少人数課題探求型の授業	1	2	3	4	5	6
6. 最先端の研究や高度専門知識の教授	1	2	3	4	5	6
7. 現場体験実習やインターンシップなど	1	2	3	4	5	6
8. 日常的な研究指導	1	2	3	4	5	6
9. 学位論文指導	1	2	3	4	5	6
10. 進路支援 (就職や進学、資格取得など)	1	2	3	4	5	6
11. 学習環境 (図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	1	2	3	4	5	6
12. 学生生活に対するサポート	1	2	3	4	5	6

Ⅲ. 役立ったと思う大学院の授業

(1) 在学中に受講した授業のうち、大学院を卒業してから自分に役立ったと思う授業※があればお書きください。覚えている授業名があれば記入してください。

※現在の仕事や学習、研究、生活などに役立ったと思う授業

--

(2) その授業のどのような点が役立ったと思いますか。

--

Ⅳ. 三重大学大学院の教育に対するニーズ

三重大学大学院ではどのような ^{ちから}力の伸長に重点を置いて教育す

--	--	--	--

べきだと思うか、以下の 13 項目の中から 4 つ選び、枠内にお書きください。

1. 広い視野で多面的に考える力
2. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力
3. 外国語でコミュニケーションをする力
4. 人と共同して仕事をする力
5. 文章作成や文章表現の力
6. 情報を収集して適切に処理する力
7. 一般常識
8. 基礎学力
9. 専門知識や技術
10. どんな仕事にもねばり強く取り組む
11. 自立的に自らが決断する力
12. 実際に仕事をやり遂げる実行力
13. その他 ()

Ⅴ. 大学院生活で重点を置いたこと

あなたが大学院生活で、特に重点を置いていたものについて、以下の 18 項目の中から 2 つ選び、枠内にお書きください。

--	--

1. 大学院の授業
2. PBLに関連する授業
3. 学位論文
4. (研究室での)共同研究
5. ゼミ
6. 実習
7. ボランティア
8. 学部専攻を生かしたボランティア
9. 留学
10. クラブ・サークル
11. アルバイト
12. 学生自治活動
13. インターンシップ
14. 就職活動
15. 採用資格準備
16. 専門学校
17. レジャー
18. その他 ()

VI. 三重大学大学院の教育・研究で身についたこと

あなたは、三重大学大学院において以下の項目が示す ^{ちから}力がどのくらい身についたと思いますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	身につかなかった	あまり身につかなかった	ある程度身についた	十分身についた
1. 広い視野で多面的に考える力	1	2	3	4
2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	1	2	3	4
3. 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	1	2	3	4
4. 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	1	2	3	4
5. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	1	2	3	4
6. 事実や他者に対する誠実さ	1	2	3	4
7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	1	2	3	4
8. 他者に対する柔軟性や他者との調整力	1	2	3	4
9. 日常的なコミュニケーションをする力	1	2	3	4
10. 外国語でコミュニケーションをする力	1	2	3	4
11. プレゼンテーションをする力	1	2	3	4
12. ディスカッションをする力	1	2	3	4
13. 人と協同して仕事をする力	1	2	3	4
14. 文章作成や文章表現の力	1	2	3	4
15. 情報を収集して適切に処理する力	1	2	3	4
16. 情報機器を活用する力	1	2	3	4
17. 社会、または技術の変化に対応する力	1	2	3	4
18. 人間や社会についての理解・知識	1	2	3	4
19. 自然科学に関する基礎知識	1	2	3	4
20. 一般常識	1	2	3	4
21. 基礎学力	1	2	3	4
22. 専門知識や技術	1	2	3	4
23. 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	1	2	3	4
24. どんな仕事にもねばり強く取り組む力	1	2	3	4
25. ストレスを感じてもそれに耐える力	1	2	3	4
26. 意欲的に物事に取り組む力	1	2	3	4
27. 自立的に自らが決断する力	1	2	3	4
28. 実際に仕事をやり遂げる実行力	1	2	3	4

Ⅶ. 社会生活の場で重要な^{ちから}力について

--	--	--	--

大学院修了後の社会生活の場で、あなたが特に重要だと思う^{ちから}力を以下の17項目の中から4つ選び、枠内にお書きください。

- | | | |
|---------------|-------------|----------------|
| 1. 情報収集する力 | 2. 分析する力 | 3. 構想する力 |
| 4. 企画する力 | 5. 判断する力 | 6. 実行する力 |
| 7. 人を理解する力 | 8. 状況を理解する力 | 9. 責任感 |
| 10. 支援・指導する力 | 11. チームで働く力 | 12. 職業的スキル |
| 13. 忍耐力 | 14. 社会人マナー | 15. コミュニケーション力 |
| 16. 切磋琢磨し合える力 | 17. その他（ | ） |

Ⅷ. 三重大学大学院の教育に関してご意見や感想がございましたら、下の枠内にお書きください。今後の教育改善に役立てたいと考えております。

--

Ⅸ. 卒業されてから約1年が経過しますが、この1年を振り返って三重大学に在学中の学生に、アドバイスやメッセージがありましたら教えてください。

--

※ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて投函していただきますようよろしくお願いいたします。

三重大学卒業生についてのアンケート

事業所(卒業生就職先)

I. 今年度、貴事業所に就職した三重大学卒業生に関してご存じの範囲でお答えください。(卒業生の情報については、別紙「卒業生リスト」も参考にしてください。卒業生1名につきアンケート用紙は1枚です。)

- 1. 卒業学部 [人文・教育・医・工・生物資源]
- 2. 学科・課程 []
- 3. 性別 [男・女]

II. 三重大学卒業生に対する評価

今年度、貴事業所に就職した三重大学卒業生に以下の項目がどのくらい身についていると思うか、あてはまる数字1つに○をつけてください。

	身につ いてい ない	あ ま り 身 に つ い て い な い	あ る 程 度 身 に つ い て い る	十 分 身 に つ い て い る	評 価 で き な い
1. 広い視野で多面的に考える力	1	2	3	4	5
2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	1	2	3	4	5
3. 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	1	2	3	4	5
4. 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	1	2	3	4	5
5. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	1	2	3	4	5
6. 事実や他者に対する誠実さ	1	2	3	4	5
7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	1	2	3	4	5
8. 他者に対する柔軟性や他者との調整力	1	2	3	4	5
9. 日常的なコミュニケーションをする力	1	2	3	4	5
10. 外国語でコミュニケーションをする力	1	2	3	4	5
11. プレゼンテーションをする力	1	2	3	4	5
12. ディスカッションをする力	1	2	3	4	5
13. 人と協同して仕事をする力	1	2	3	4	5
14. 文章作成や文章表現の力	1	2	3	4	5
15. 情報を収集して適切に処理する力	1	2	3	4	5
16. 情報機器を活用する力	1	2	3	4	5
17. 社会、または技術の変化に対応する力	1	2	3	4	5
18. 人間や社会についての理解・知識	1	2	3	4	5
19. 自然科学に関する基礎知識	1	2	3	4	5
20. 一般常識	1	2	3	4	5
21. 基礎学力	1	2	3	4	5
22. 専門知識や技術	1	2	3	4	5
23. 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	1	2	3	4	5
24. どんな仕事にもねばり強く取り組む力	1	2	3	4	5
25. ストレスを感じてもそれに耐える力	1	2	3	4	5
26. 意欲的に物事に取り組む力	1	2	3	4	5
27. 自立的に自らが決断する力	1	2	3	4	5
28. 実際に仕事をやり遂げる実行力	1	2	3	4	5

Ⅲ. 三重大大学の教育に対するニーズ

以下の 13 項目の中で、三重大大学の教育に期待するものを 4 つ選び、下の枠内にお書きください。

--	--	--	--

1. 広い視野で多面的に考える力
2. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力
3. 外国語でコミュニケーションをする力
4. 人と共同して仕事をする力
5. 文章作成や文章表現の力
6. 情報を収集して適切に処理する力
7. 一般常識
8. 基礎学力
9. 専門知識や技術
10. どんな仕事にもねばり強く取り組む
11. 自立的に自らが決断する力
12. 実際に仕事をやり遂げる実行力
13. その他 ()

Ⅳ. 新人研修や新人教育について

貴事業所が新人研修・新人教育を行う際に、重要視している^{ちから}力を以下の 17 項目の中から 4 つ選び、下の枠内にお書きください。

--	--	--	--

1. 情報収集する力
2. 分析する力
3. 構想する力
4. 企画する力
5. 判断する力
6. 実行する力
7. 人を理解する力
8. 状況を理解する力
9. 責任感
10. 支援・指導する力
11. チームで働く力
12. 職能
13. 忍耐力
14. 社会人マナー
15. コミュニケーション力
16. 切磋琢磨し合える力
17. その他 ()

Ⅴ. 三重大大学の教育や卒業生についてご意見・ご感想等がございましたら、下の枠内にお書きください。

--

※ご協力ありがとうございました。お手数ですが、返信用封筒に入れて投函していただきますようよろしく願いいたします。

三重大学大学院修士生についてのアンケート

事業所用(修士生就職先)

I. 今年度、貴事業所に就職した三重大学大学院修士生に関してご存じの範囲でお答えください。(修士生の情報については、別紙「修士生リスト」も参考にしてください。修士生1名につきアンケート用紙は1枚です。)

- 1. 修士研究科 [人文社会科 ・ 教育学 ・ 医学系 ・ 工学 ・ 生物資源学 ・ 地域イノベーション学]
-2. 専攻 []
-3. 性別 [男 ・ 女]

II. 三重大学大学院修士生に対する評価

今年度、貴事業所に就職した三重大学大学院修士生に以下の項目がどのくらい身についていると思うか、あてはまる数字1つに○をつけてください。

Table with 5 columns: Item description, 身につけていない, あまり身につけていない, ある程度身につけている, 十分身につけている, and 評価できない. It lists 28 items for evaluation.

Ⅲ. 三重大学大学院の教育に対するニーズ

以下の 13 項目の中で、三重大学大学院の教育に期待するものを 4 つ選び、下の枠内にお書きください。

--	--	--	--

1. 広い視野で多面的に考える力
2. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力
3. 外国語でコミュニケーションをする力
4. 人と共同して仕事をする力
5. 文章作成や文章表現の力
6. 情報を収集して適切に処理する力
7. 一般常識
8. 基礎学力
9. 専門知識や技術
10. どんな仕事にもねばり強く取り組む
11. 自立的に自らが決断する力
12. 実際に仕事をやり遂げる実行力
13. その他 ()

Ⅳ. 新人研修や新人教育について

貴事業所が新人研修・新人教育を行う際に、重要視している ^{ちから}力

--	--	--	--

を以下の 17 項目の中から 4 つ選び、下の枠内にお書きください。

1. 情報収集する力
2. 分析する力
3. 構想する力
4. 企画する力
5. 判断する力
6. 実行する力
7. 人を理解する力
8. 状況を理解する力
9. 責任感
10. 支援・指導する力
11. チームで働く力
12. 職能
13. 忍耐力
14. 社会人マナー
15. コミュニケーション力
16. 切磋琢磨し合える力
17. その他 ()

Ⅴ. 三重大学大学院の教育や修了生についてご意見・ご感想等がございましたら、下の枠内にお書きください。

--

※ご協力ありがとうございました。お手数ですが、返信用封筒に入れて投函していただきますようよろしく願いいたします。